

2025 地域交通に関する 県民意識調査 報 告 書

I	目的・設計・回答状況	1
II	調査結果 (i)単純集計	4
	(ii)概要	8
	(iii)集計表	38
	(iv)記述回答	59
III	調査票	75



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ

I 目的・設計・回答状況

◆ 目 的

人口減少時代の長野県の地域づくりをどう描いていけばよいのか。今回は、地域交通に焦点を当てます。路線バスの減便、ローカル鉄道の存廃論議など公共交通は大きな曲がり角にさしかかり、マイカー利用者にはガソリン代高騰への不満が高まっています。高齢化が進み、運転免許の自主返納も必要となる半面、生活をどのように維持するのか。県民が課題をどうとらえ、何を求めているかを探り、議論のきっかけとすることが目的です。

◆ 設 計

▽調査時期	2025（令和7）年2月14日（調査票発送）～3月19日（回収締め切り）
▽調査対象	長野県内に住む18歳以上の男女1,550人
▽抽出方法	層化三段無作為抽出法。市町村の選挙人名簿から無作為抽出
▽調査地点	19市12町11村の計42市町村
▽調査方法	郵送方式。調査票を郵送し、回答は郵送、インターネット、ファクスで回収

◆ 回答状況

▽有効回答	1,023人
▽回 答 率	66.0 %

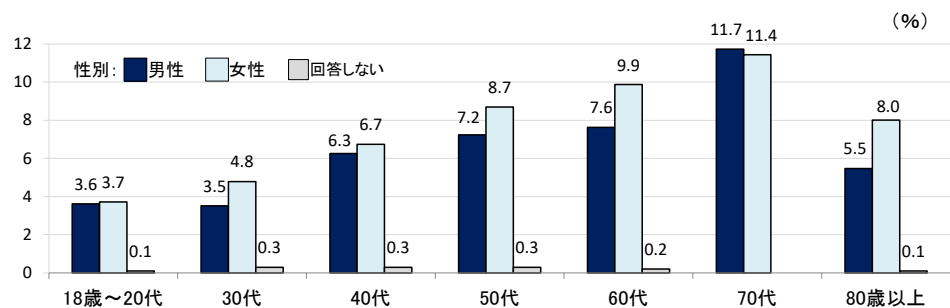
[回収方法別の内訳]（ ）内は比率	
・ 郵送	810人（79.2%）
・ インターネット	182人（17.8%）
・ ファクス	31人（3.0%）

【注】本報告書のパーセント数字は小数点第二位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

有効回答の内訳

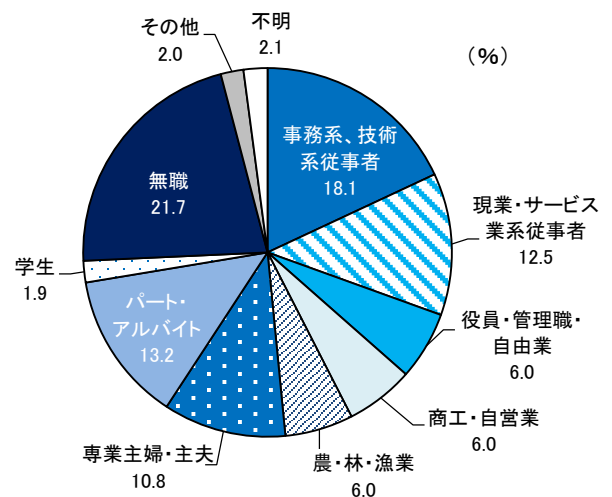
【年代・性別】

		全体	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
年代別	(人)	1023	76	88	136	166	181	237	139
	(%)	100.0	7.4	8.6	13.3	16.2	17.7	23.2	13.6
性別	男性	(人)	465	37	36	64	74	78	120
		(%)	45.5	3.6	3.5	6.3	7.2	7.6	11.7
	女性	(人)	545	38	49	69	89	101	117
		(%)	53.3	3.7	4.8	6.7	8.7	9.9	11.4
	回答しない	(人)	13	1	3	3	3	2	1
		(%)	1.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1



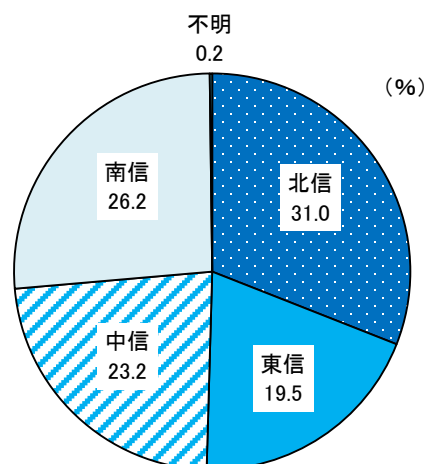
【職業】

	(人)	(%)
事務系、技術系従事者	185	18.1
現業・サービス業系従事者	128	12.5
役員・管理職・自由業	61	6.0
商工・自営業	61	6.0
農・林・漁業	61	6.0
専業主婦・主夫	110	10.8
パート・アルバイト	135	13.2
学生	19	1.9
無職	222	21.7
その他	20	2.0
不明	21	2.1
全体	1023	100.0



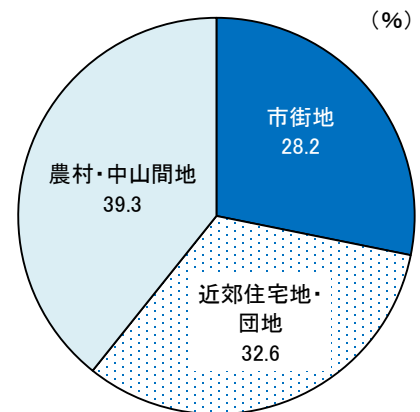
【居住地域】

	(人)	(%)
北信	317	31.0
東信	199	19.5
中信	237	23.2
南信	268	26.2
不明	2	0.2
全体	1023	100.0



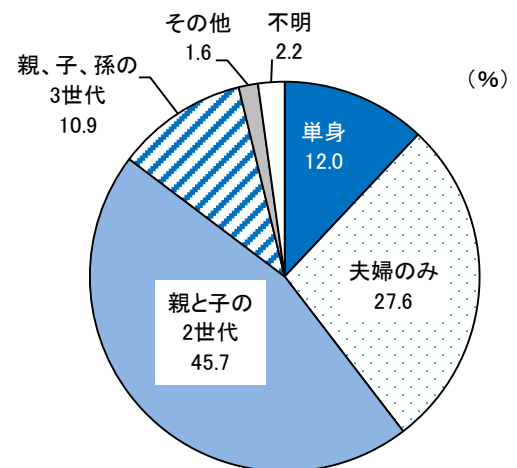
【地域性】

	(人)	(%)
市街地	288	28.2
近郊住宅地・団地	333	32.6
農村・中山間地	402	39.3
全体	1023	100.0



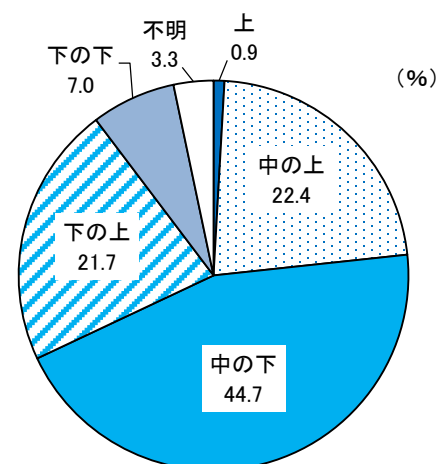
【世帯構成】

	(人)	(%)
単身	123	12.0
夫婦のみ	282	27.6
親と子の2世代	468	45.7
親、子、孫の3世代	112	10.9
その他	16	1.6
不明	22	2.2
全体	1023	100.0



【暮らし向き】

	(人)	(%)
上	9	0.9
中の上	229	22.4
中の下	457	44.7
下の上	222	21.7
下の下	72	7.0
不明	34	3.3
全体	1023	100.0



(ii) 概要

主な移動手段

問1 あなたが、通勤・通学や通院、買い物や趣味など、ご自身の日常生活において主な移動手段としているのは、次のうちどれですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。

◆「マイカー」9割近く

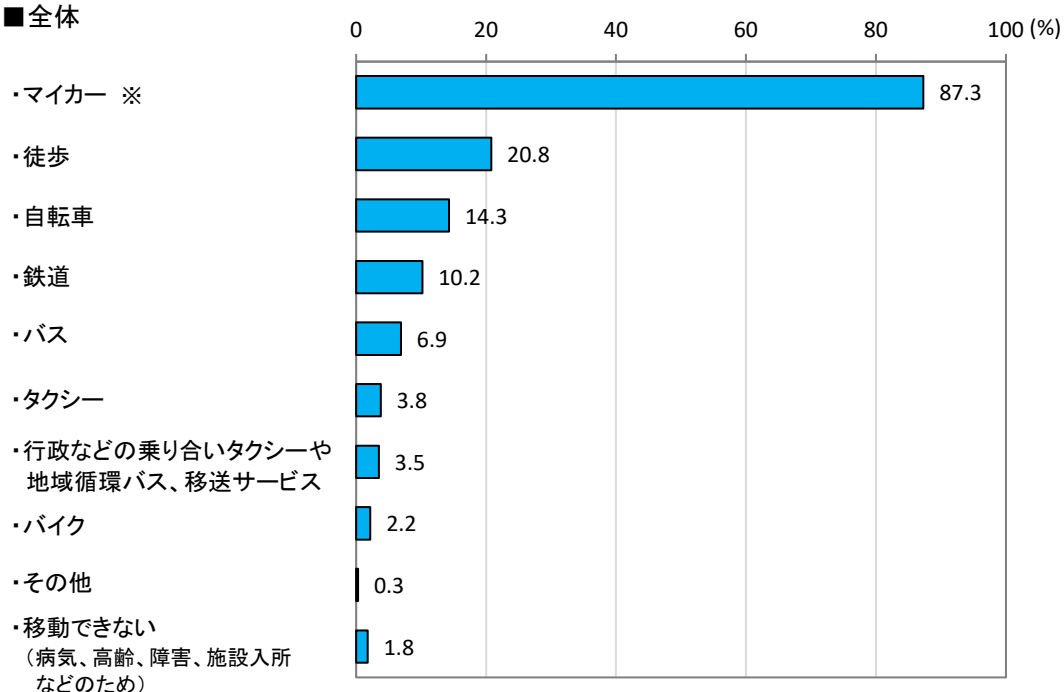
集計表38ページ

日常生活の主な移動手段は、「マイカー」が87.3%と圧倒的に多く、地方の暮らしに車が欠かせない実態を示した。2番目以下は大きく離れ、「徒歩」が20.8%、「自転車」が14.3%。次いで、公共交通の「鉄道」が10.2%、「バス」が6.9%と続く。「行政などの乗り合いタクシーや地域循環バス、移送サービス」は3.5%。

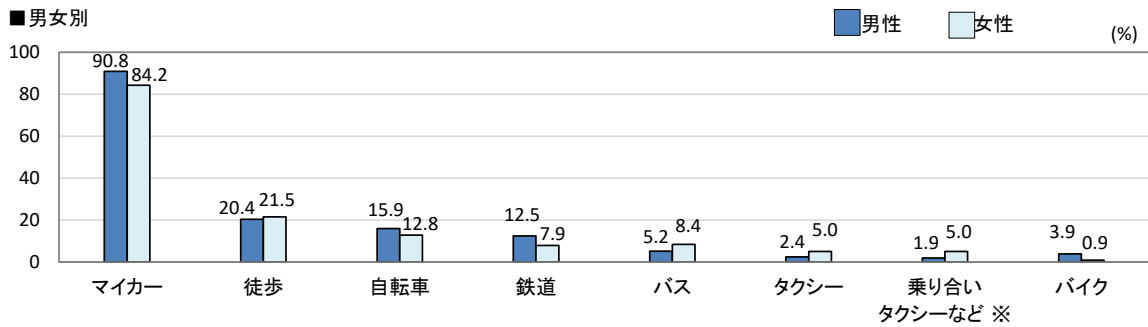
年代別にみると、「マイカー」は、80歳以上で74.1%と唯一8割を切るが、80歳を過ぎてもほぼ4人に3人がマイカーに頼っていることになる。「徒歩」「自転車」は、18歳～20代でそれぞれ30.3%、26.3%と最も高い。「鉄道」は、18歳～20代では19.7%で、概ね年代が上がるほど低くなり、80歳以上では6.5%。一方、「バス」と「行政などの乗り合いタクシーや地域循環バス、移送サービス」は、80歳以上でのみいずれも12.2%と1割を超えた。

居住地域別にみると、「マイカー」は、東信で94.5%、地域性別では、農村・中山間地で90.3%と特に高い。地域性別で、「徒歩」「自転車」は、市街地でそれぞれ32.3%、22.6%と農村・中山間地の3倍強。

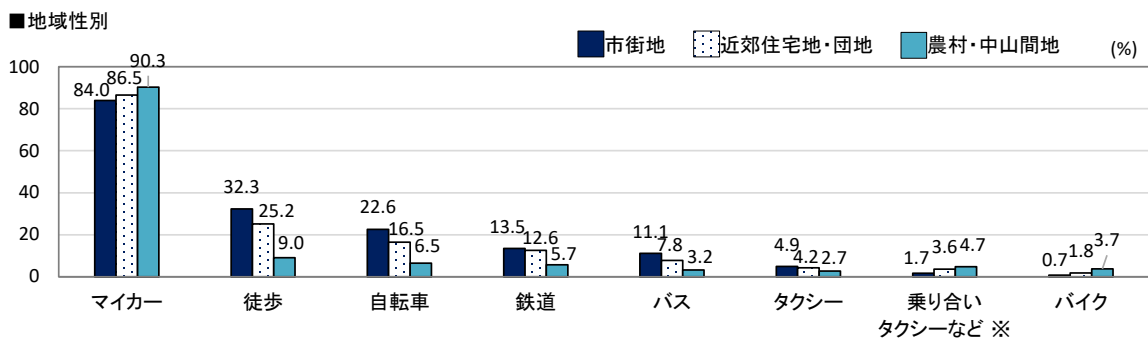
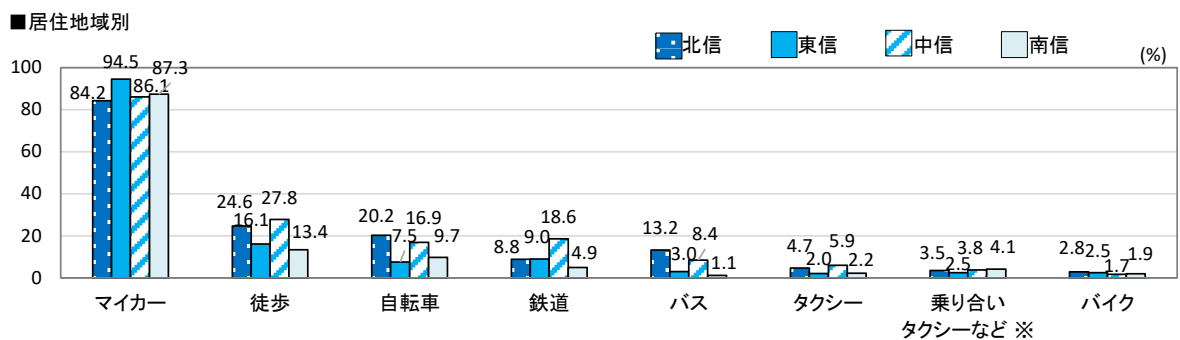
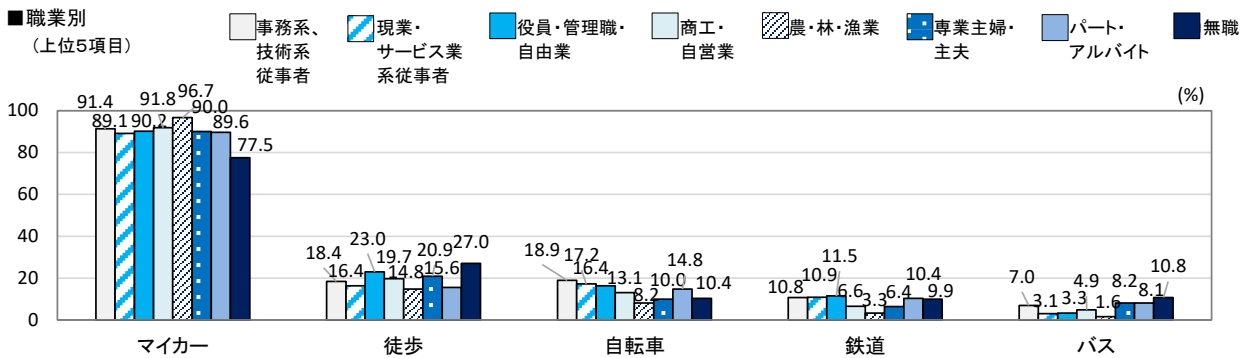
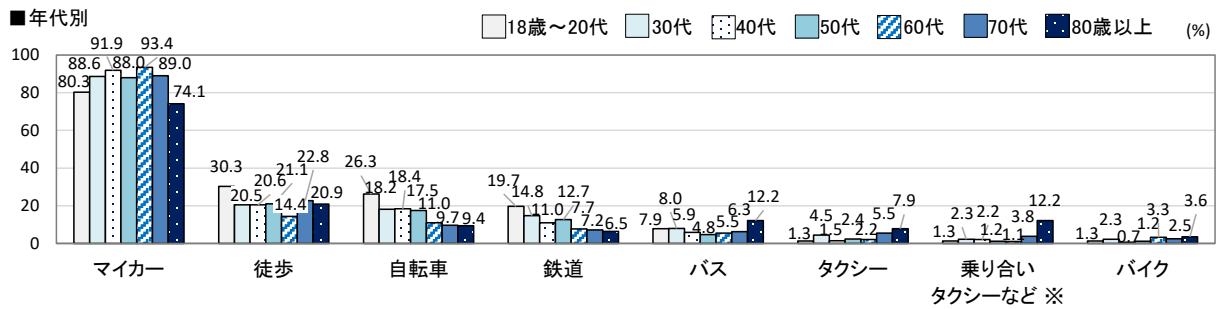
■全体



※ 勤務先貸与の車で通勤している、あるいは、家族が運転している場合も含む



※ 行政などの乗り合いタクシーや地域循環バス、移送サービス



鉄道 不便や不満

問2 あなたが、日常生活で、鉄道を利用するとき、特に、不便や不満を感じるのは、どんなことですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選んでください。

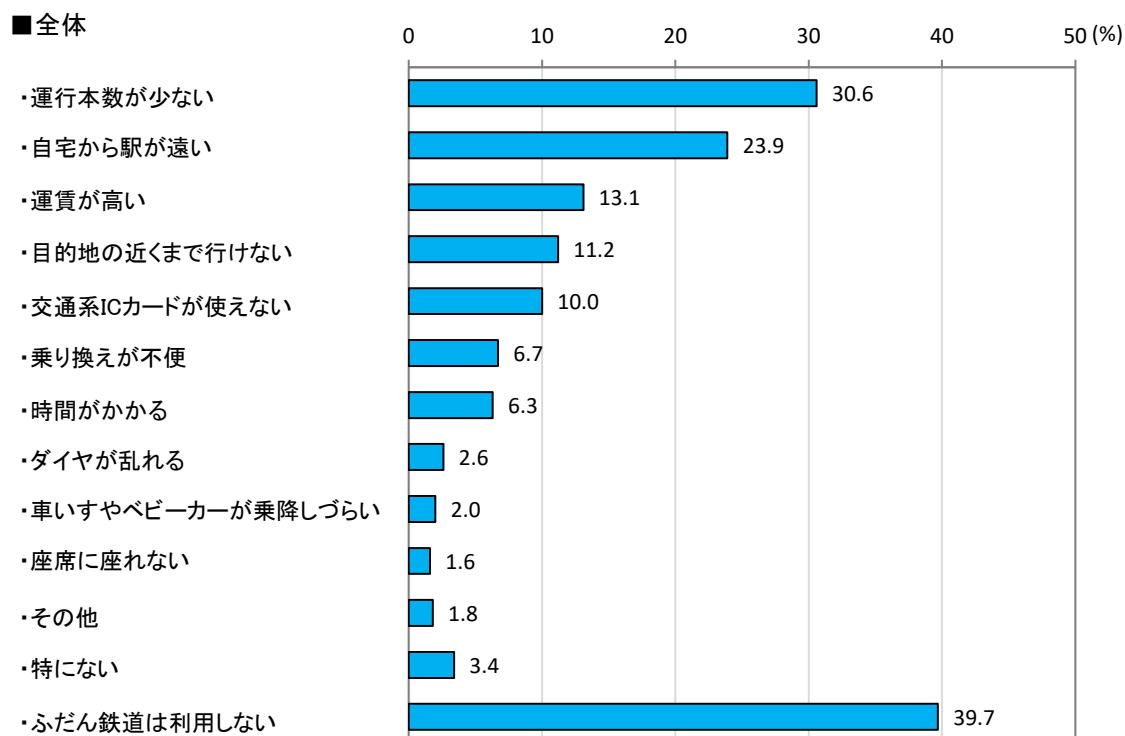
◆「運行本数が少ない」30.6% 「駅が遠い」23.9%

集計表39ページ

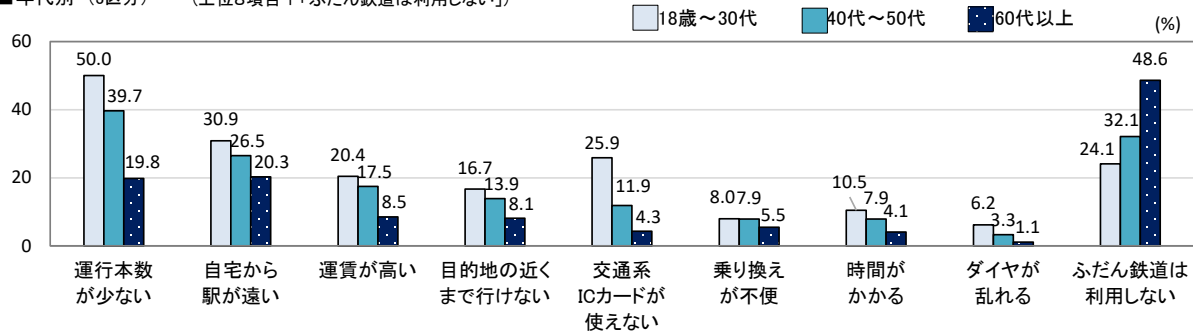
県内は大都市圏のように鉄道網が発達しておらず、「ふだん鉄道は利用しない」が39.7%と最も多い。半面、約6割は、程度の差はあっても鉄道を利用しているともとれる。回答者の属性別にみると、18歳～30代、「事務系・技術系従事者」はそれぞれ24.1%、25.4%と低く、中信地域、市街地の住民、暮らし向き「上」「中の上」も30%余で、これらの層は比較的よく鉄道を利用するとみられる。

不便や不満としては、「運行本数が少ない」を挙げた人が全体の30.6%と最多で、次いで、「自宅から駅が遠い」が23.9%と、増便やダイヤの工夫、駅へのアクセス改良などが課題となっていることを示唆した。「運賃が高い」が13.1%で続き、「目的地の近くまで行けない」が11.2%、「交通系ICカードが使えない」が10.0%と上位5項目が1割以上。

年代別にみると、「運行本数が少ない」は、利用者が多いとみられる18歳～30代で50.0%と特に高く、「交通系ICカードが使えない」も、18歳～30代で25.9%と他の年代と比べ高いのが目立つ。居住地域別で、「運行本数が少ない」は、中信で39.7%と他地域より10%以上高い。

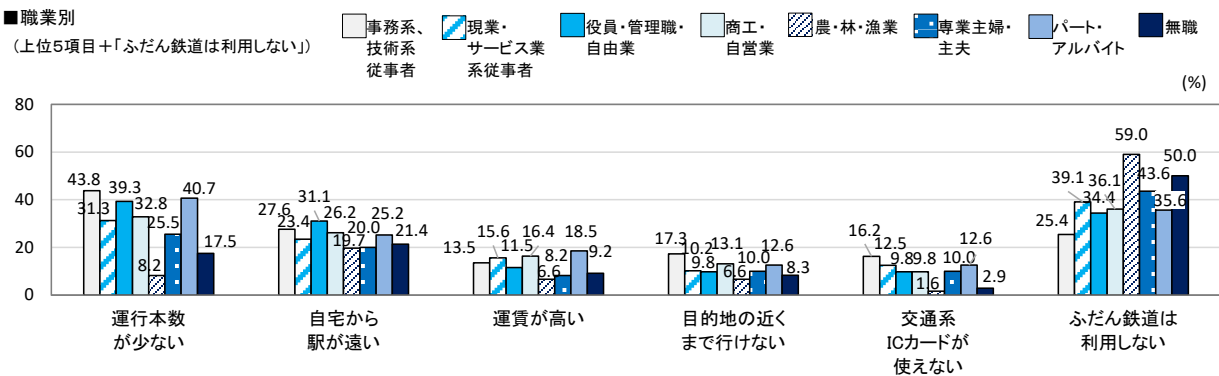


■年代別（3区分）（上位8項目+「ふだん鉄道は利用しない」）

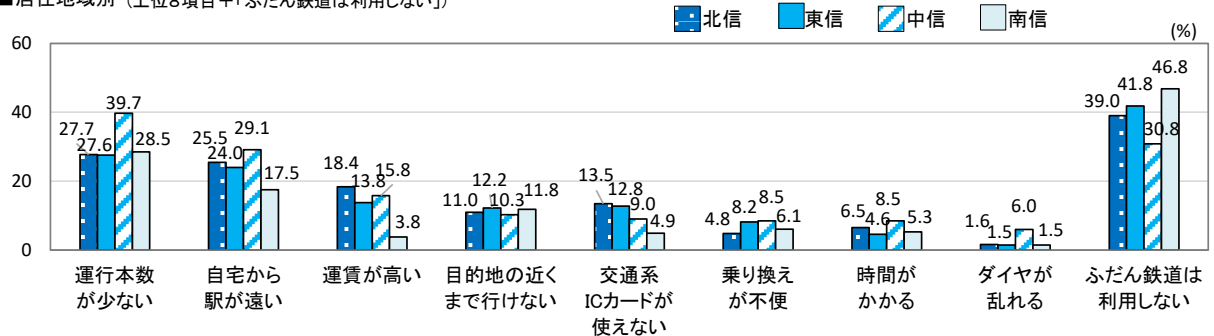


■職業別

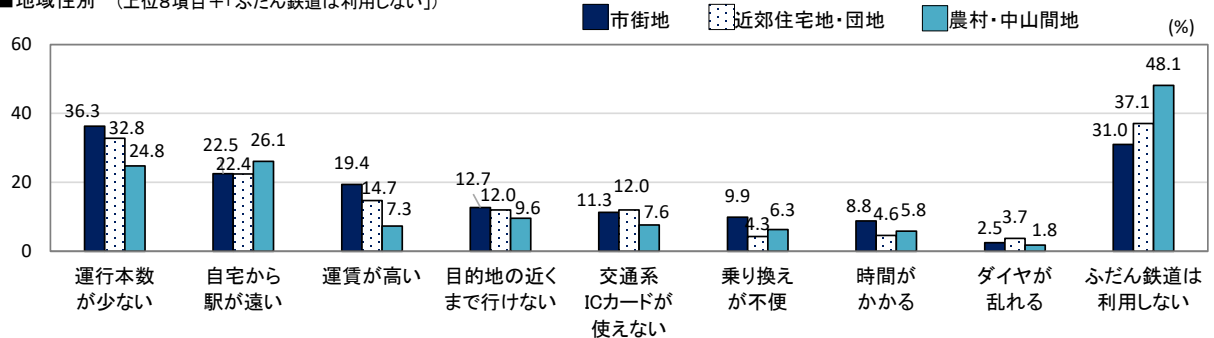
（上位5項目+「ふだん鉄道は利用しない」）



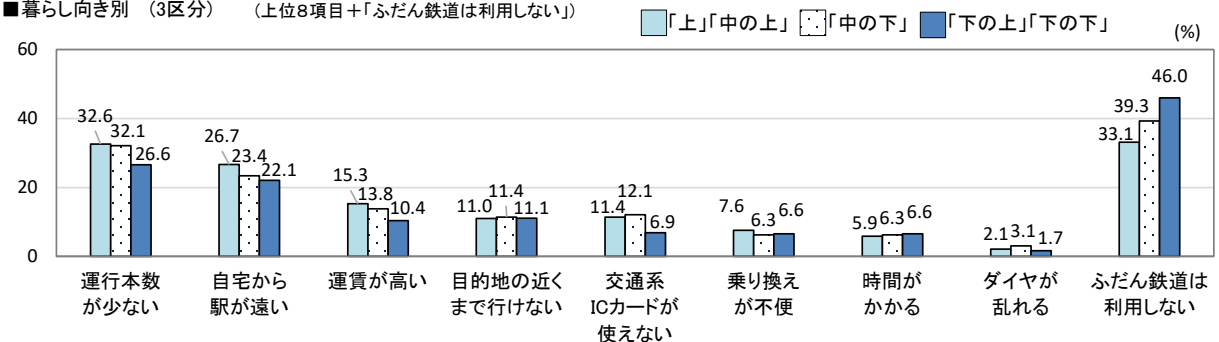
■居住地域別（上位8項目+「ふだん鉄道は利用しない」）



■地域性別（上位8項目+「ふだん鉄道は利用しない」）



■暮らし向き別（3区分）（上位8項目+「ふだん鉄道は利用しない」）



バス 不便や不満

問3 あなたが、日常生活で、バスを利用するとき、特に、不便や不満を感じるのは、どんなことですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選んでください。

集計表40ページ

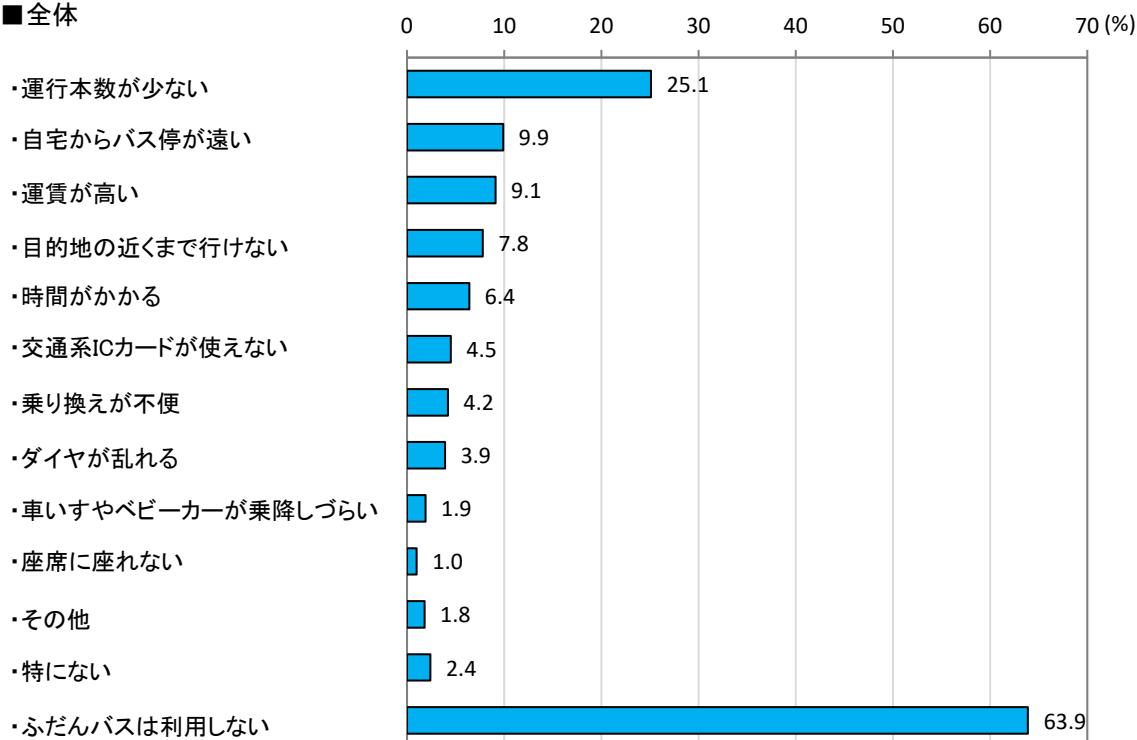
◆「運行本数が少ない」25.1%

「ふだんバスは利用しない」が63.9%と、「ふだん鉄道は利用しない」(39.7%)より20%以上高い。ただ、属性別にみると、18歳～30代、「事務系、技術系従事者」、北信地域、市街地の住民、暮らし向き「上」「中の上」は50%台で、程度の差はあっても比較的バスを利用しているともとれる。

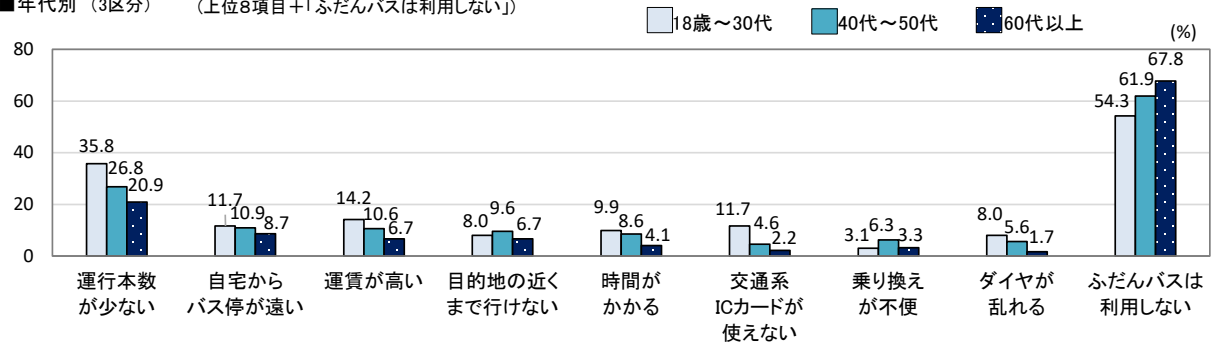
不便や不満は、「運行本数が少ない」を挙げた人が全体の25.1%で鉄道と同様最多。「自宅からバス停が遠い」が9.9%、「運賃が高い」が9.1%、「目的地の近くまで行けない」が7.8%などと続く。

「運行本数が少ない」は、バス利用者が多いとみられる層で高く、年代別では、18歳～30代で35.8%。「交通系ICカードが使えない」も、18歳～30代で11.7%と高め。居住地域別で、「運賃が高い」は、北信で17.7%と他地域より高く表れた。

■全体

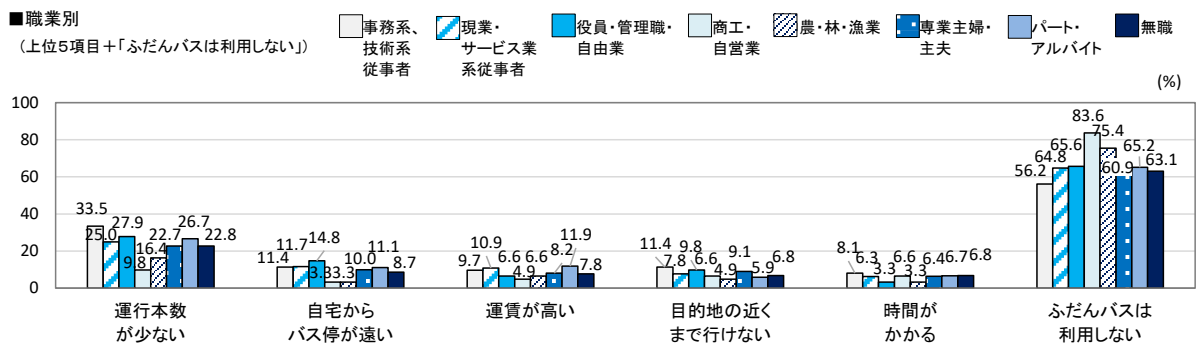


■年代別（3区分）（上位8項目+「ふだんバスは利用しない」）

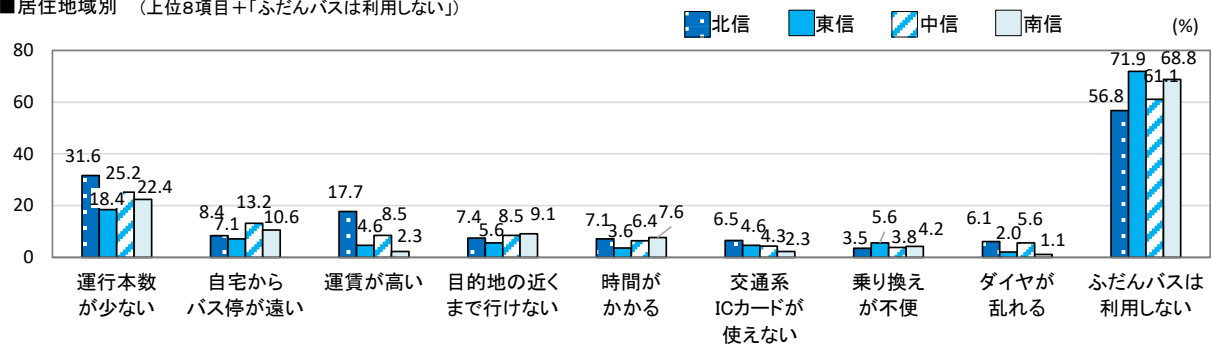


■職業別

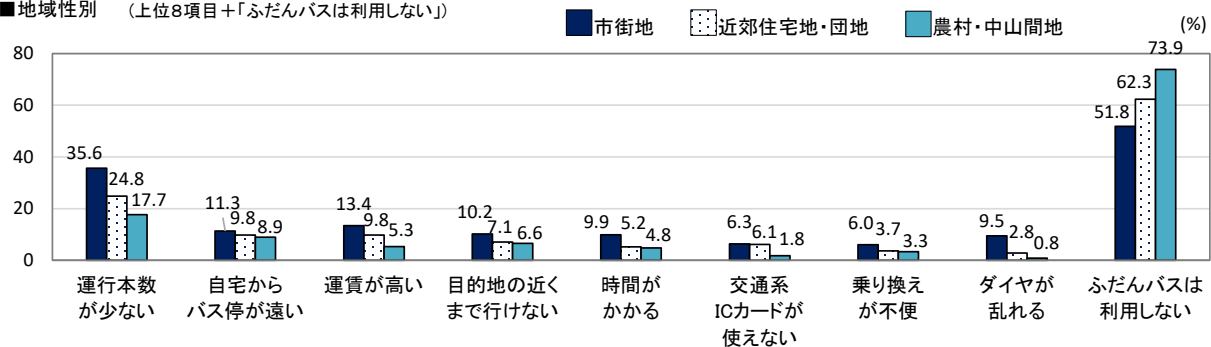
（上位5項目+「ふだんバスは利用しない」）



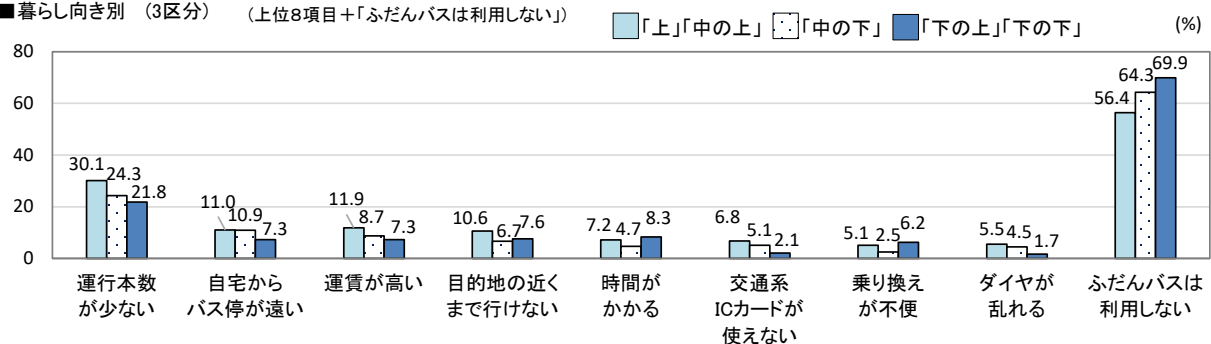
■居住地域別（上位8項目+「ふだんバスは利用しない」）



■地域性別（上位8項目+「ふだんバスは利用しない」）



■暮らし向き別（3区分）（上位8項目+「ふだんバスは利用しない」）



自転車 不便や不満

問4 あなたが、日常生活で、自転車で移動するとき、特に、不便や不満を感じるのは、どんなことですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選んでください。

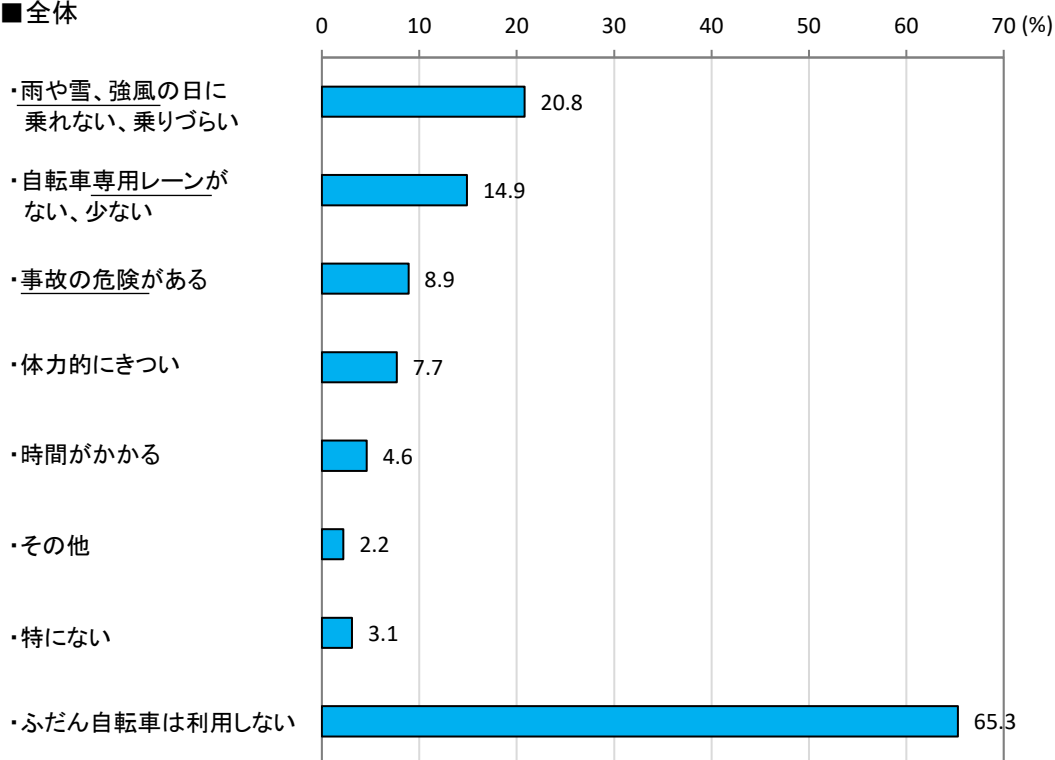
集計表41ページ

◆「雨や雪、強風」20.8% 「専用レーンがない」14.9%

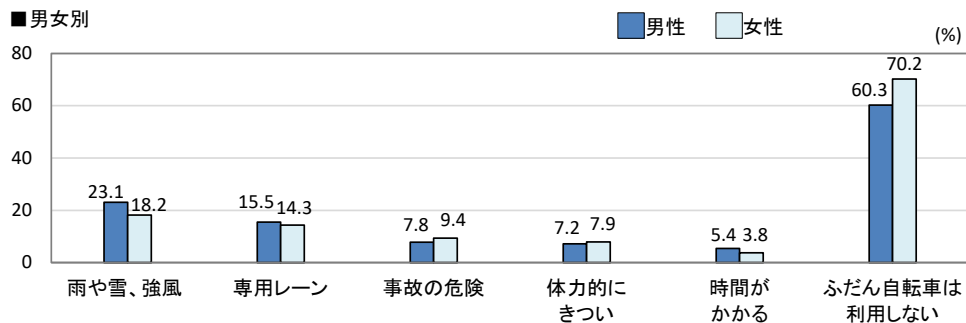
「ふだん自転車は利用しない」は65.3%と高い。ただ、年代別の18歳～30代、地域性別の市街地住民は、それぞれ51.9%、50.0%にとどまり、比較的自転車を利用しているとみられる。

不便や不満は、「雨や雪、強風の日に乗れない、乗りづらい」（雨や雪、強風）が20.8%と最多。次いで、「自転車専用レーンがない、少ない」（専用レーン）が14.9%、「事故の危険がある」（事故の危険）が8.9%と、安全の確保も課題。年代別では、「雨や雪、強風」「専用レーン」が、18歳～30代でそれぞれ35.2%、25.9%と高く、地域性別では、「雨や雪、強風」が、市街地で32.4%と高く、「専用レーン」は、市街地、近郊住宅地・団地で20%前後と高めに表れた。

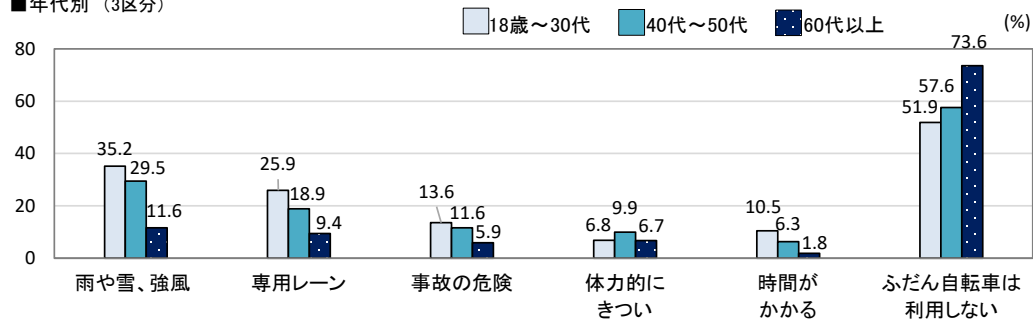
■全体



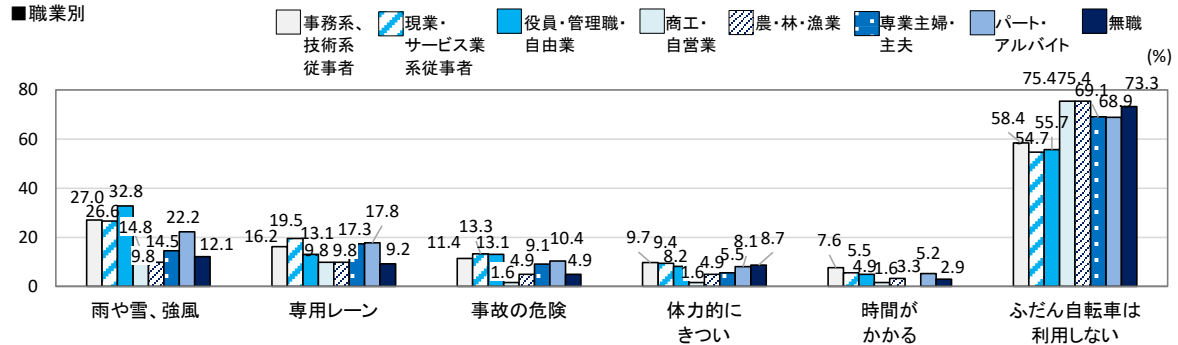
■男女別



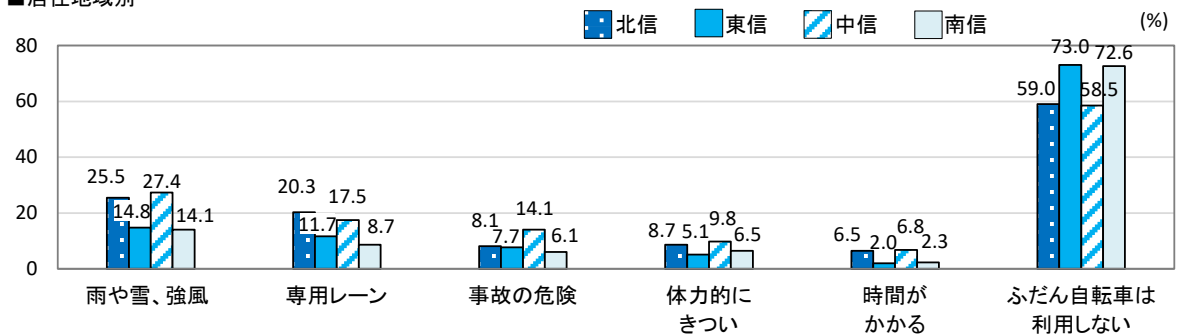
■年代別（3区分）



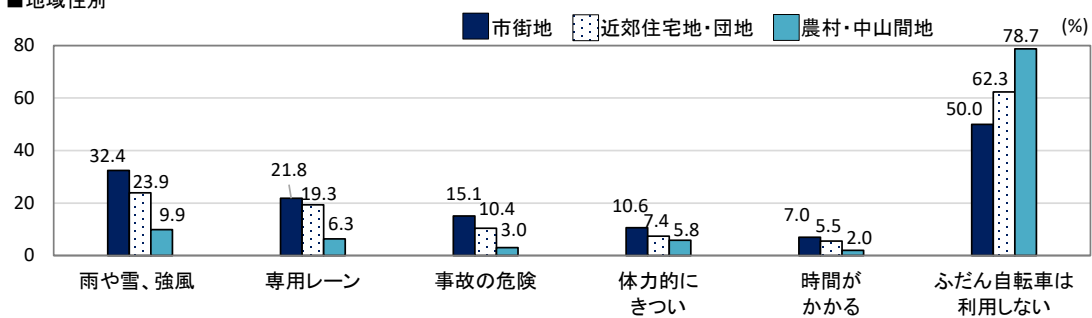
■職業別



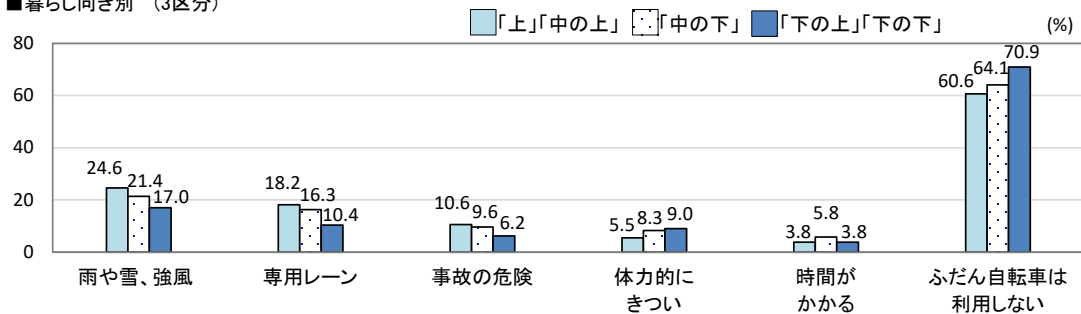
■居住地域別



■地域性別



■暮らし向き別（3区分）



マイカー 不便や不満

問5 あなたが、日常生活で、マイカーで移動するとき、特に、不便や不満を感じるのは、どんなことですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選んでください。

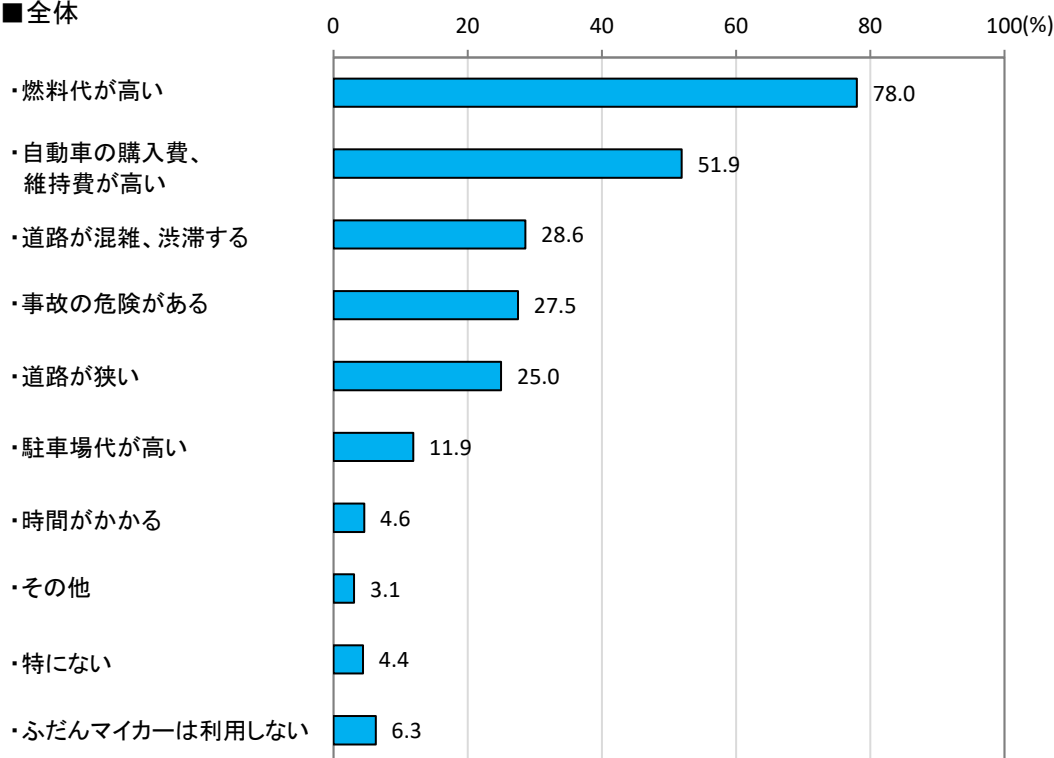
◆「燃料代が高い」78.0% 「購入費、維持費が高い」51.9%

集計表42ページ

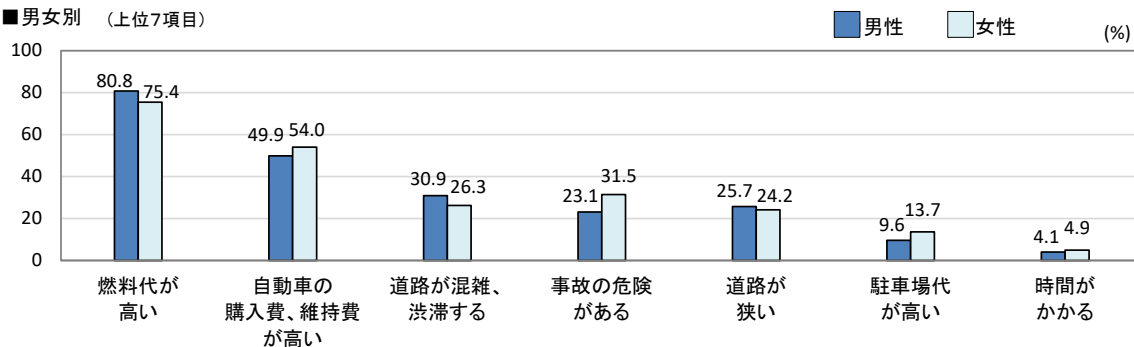
「燃料代が高い」が78.0%と、ガソリン代高騰への不満が群を抜き、次いで、「自動車の購入費、維持費が高い」が51.9%と、コストの高さに不満が表れた。「道路が混雑、渋滞する」が28.6%、「事故の危険がある」が27.5%、「道路が狭い」が25.0%と続き、道路環境や安全性への不満も小さくない。

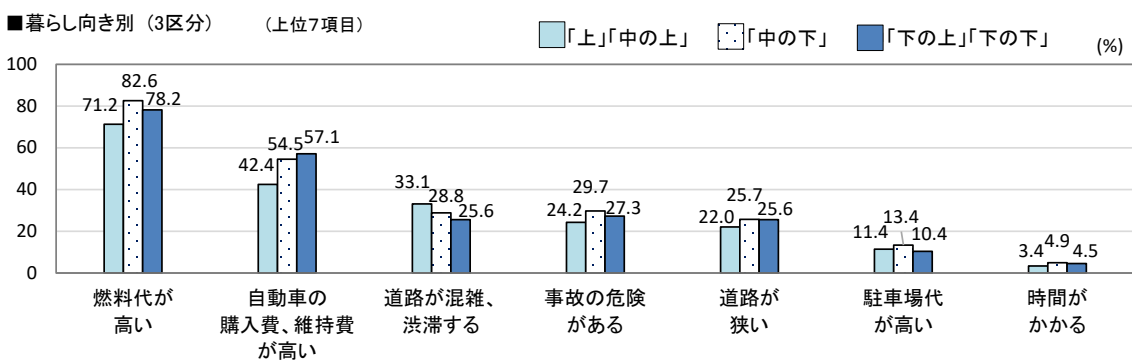
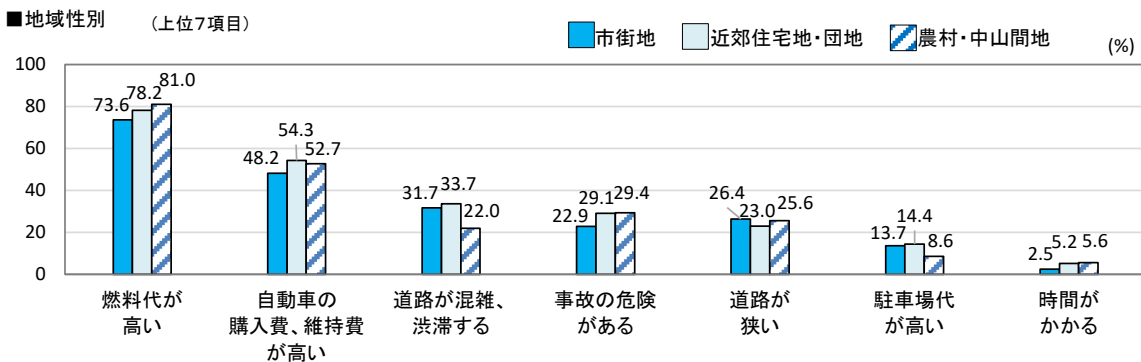
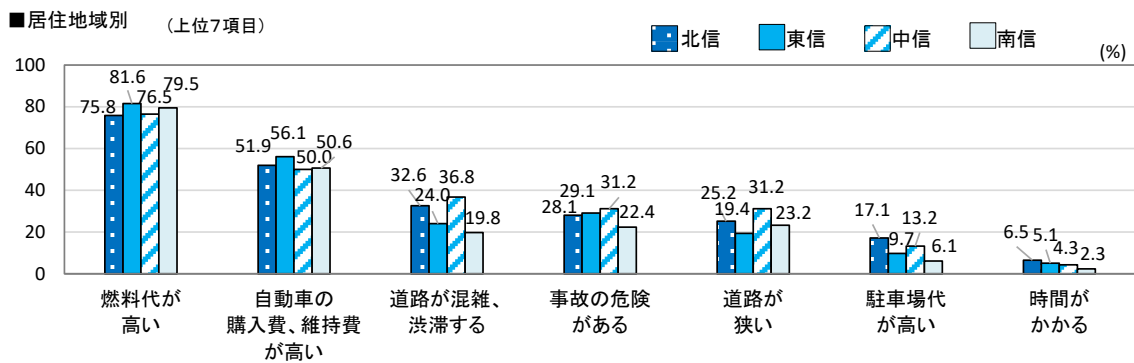
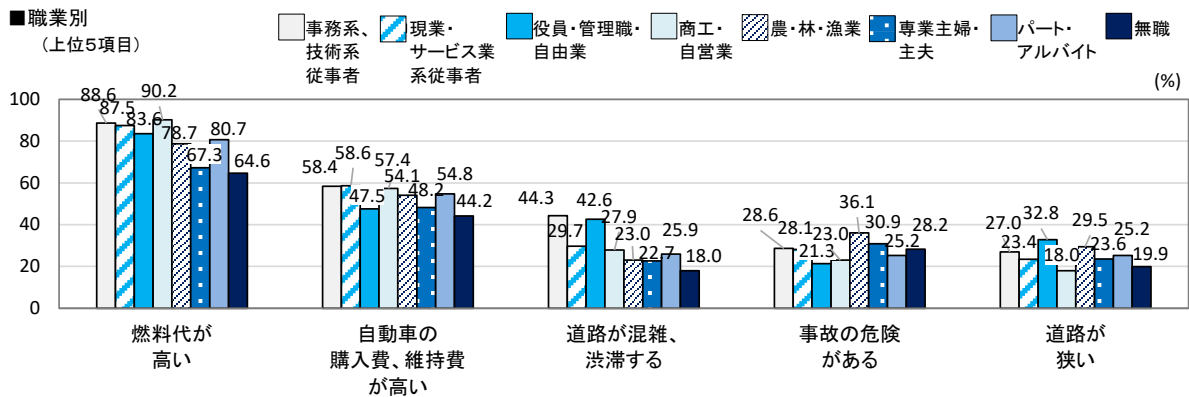
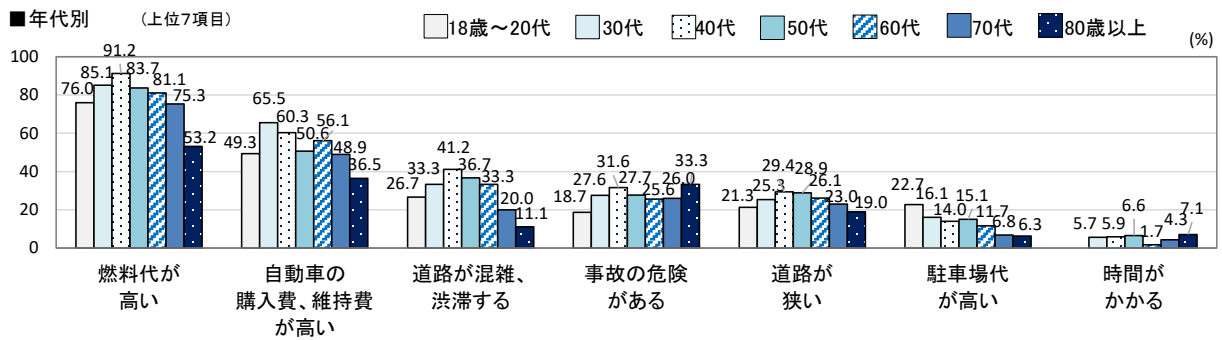
年代別にみると、「燃料代が高い」は40代で91.2%、「自動車の購入費、維持費が高い」は30代で65.5%と最も高く、「事故の危険がある」は80歳以上で33.3%と高め。居住地域別では、「道路が混雑、渋滞する」が中信、北信で30%台と高めに表れ、地域性別では、「燃料代が高い」が農村・中山間地で81.0%とやや高い。

■全体



■男女別 (上位7項目)





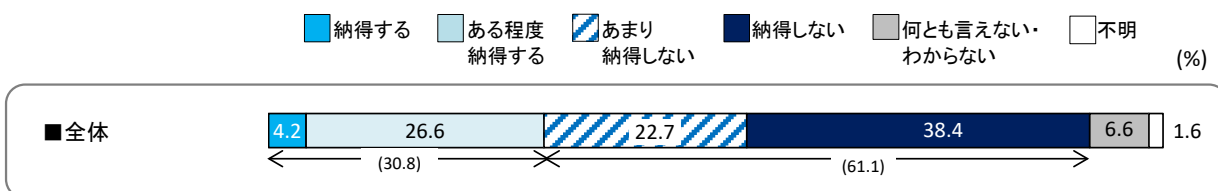
ガソリン価格 高い理由

問6 長野県は、ガソリン価格が高いことで知られています。内陸部で、中山間地が多いため輸送コストがかかり、スタンドの規模も小さいことなどが理由とされてきました。あなたは、そうした理由に納得しますか。納得しませんか。

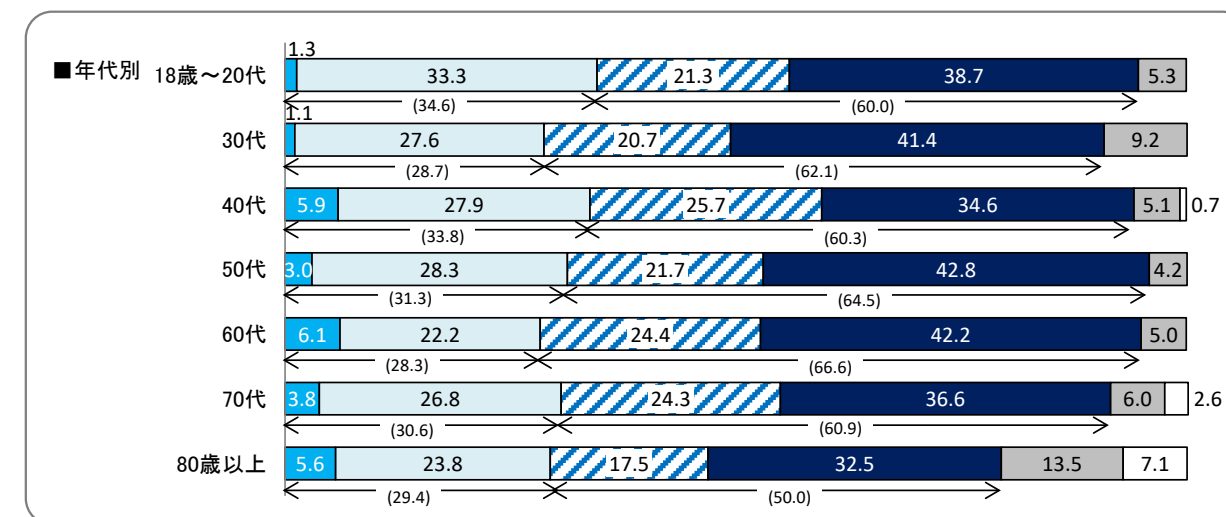
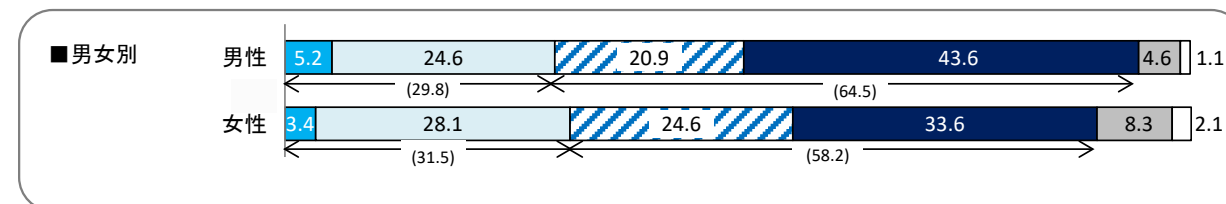
◆「納得しない」「あまり納得しない」計6割

集計表43ページ

価格高騰が続き、県民の負担感は大い。加えて、今回の調査は、ガソリンスタンド間の価格調整の可能性が大きく報道される中での実施となった。県内の価格が高い理由に「納得する」は4.2%にとどまり、「ある程度納得する」が26.6%で、「納得する」の合計は30.8%。これに対し、「あまり納得しない」が22.7%、「納得しない」との明確な回答が最多の38.4%で、「納得しない」の合計は61.1%と「納得する」の合計の約2倍。

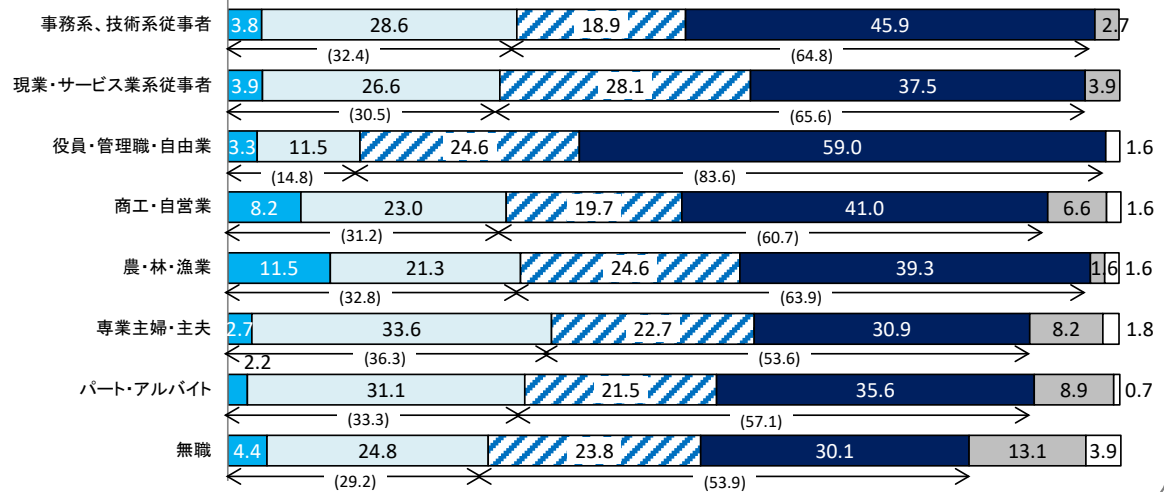


「納得しない」の合計を、男女別にみると、男性は64.5%に対し、女性は58.2%と男性が高め。年代別では、50代、60代で65%前後とやや高く、職業別で、「役員・管理職・自由業」は回答者が61人と少ないものの83.6%と目立つ。居住地域別では、北信、東信でそれぞれ65.5%、65.3%に対し、中信、南信は50%台後半。地域性別では、近郊住宅地・団地で66.6%、暮らし向きの別で、「下の上」「下の下」で65.1%と高めに表れた。

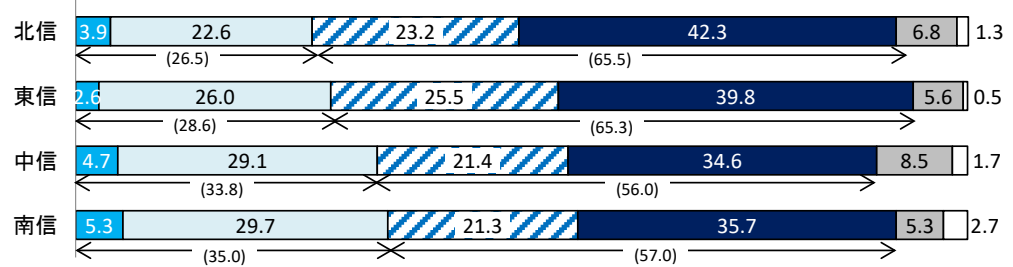


■ 納得する
 ■ ある程度納得する
 ■ あまり納得しない
 ■ 納得しない
 ■ 何とも言えない・わからない
 ■ 不明
 (%)

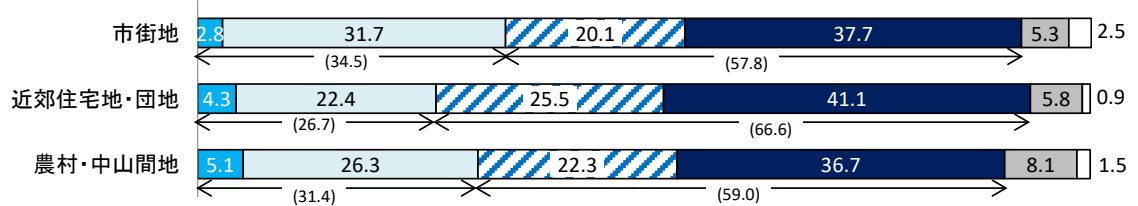
■職業別



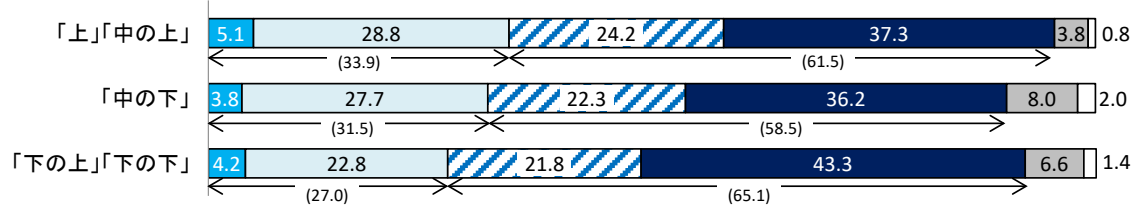
■居住地域別



■地域性別



■暮らし向き別 (3区分)



ガソリン価格 どうする

問7 山間部が多く面積も広い長野県のような地方では、日常生活に車は欠かせないため、ガソリン価格の高騰や、地域間の価格差に不満は小さくありません。次の中から、あなたの意見に特に、近いものがあれば、いくつでも選んでください。

◆「国は引き下げに努めるべき」72.5%

集計表44ページ

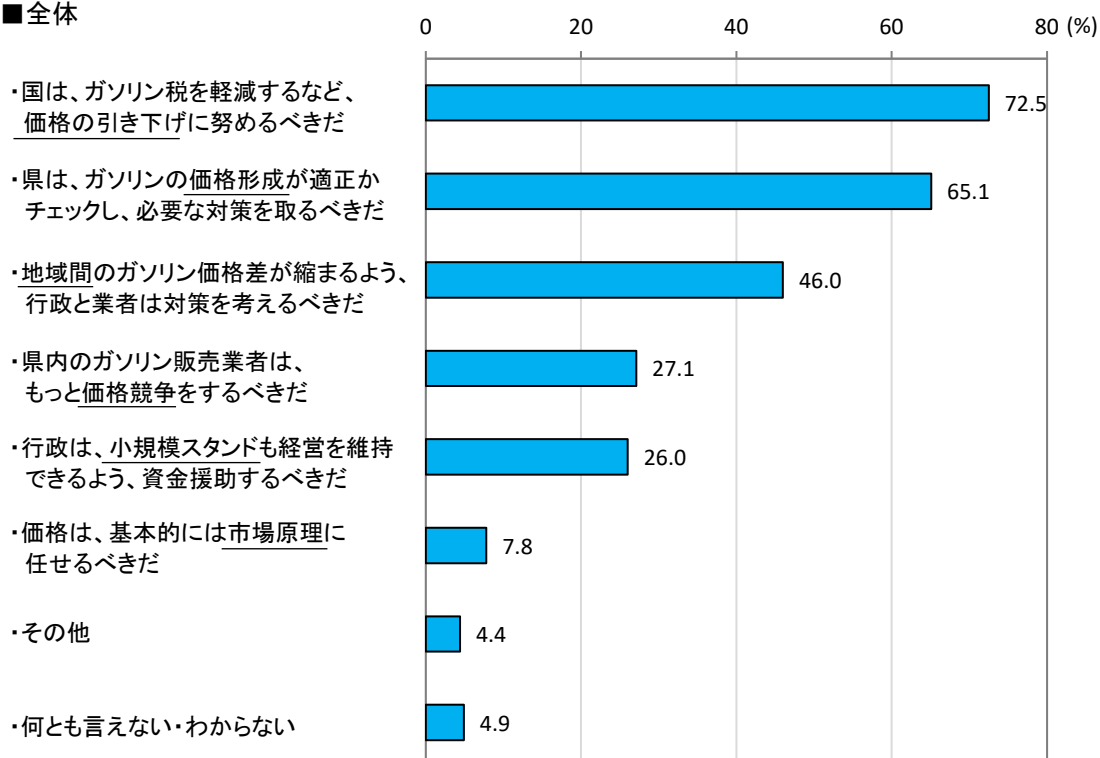
「県は価格形成のチェックを」65.1%

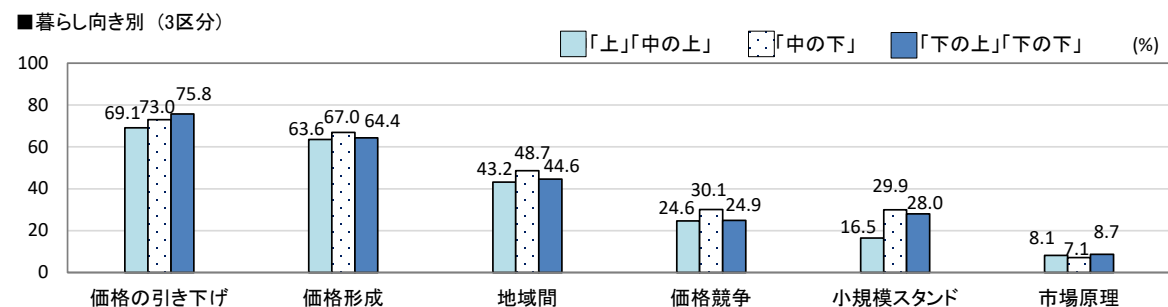
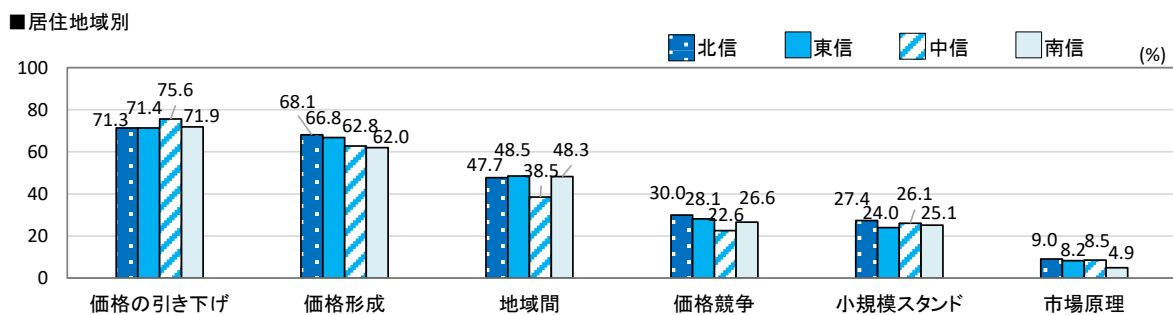
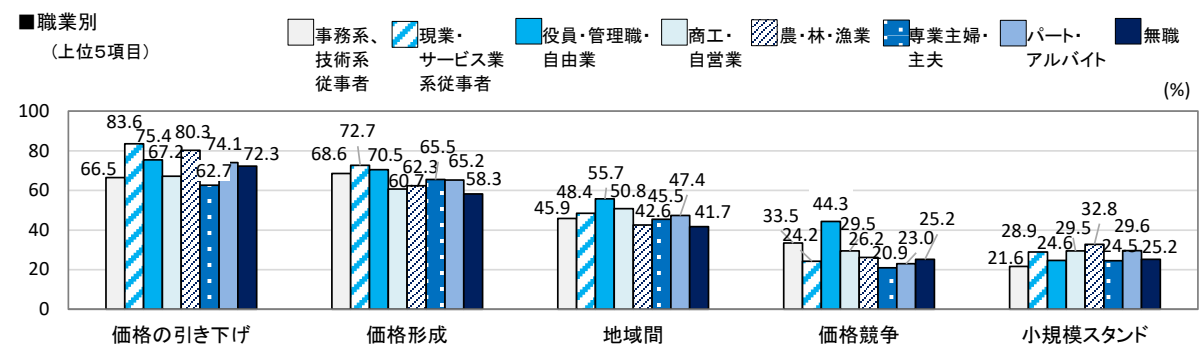
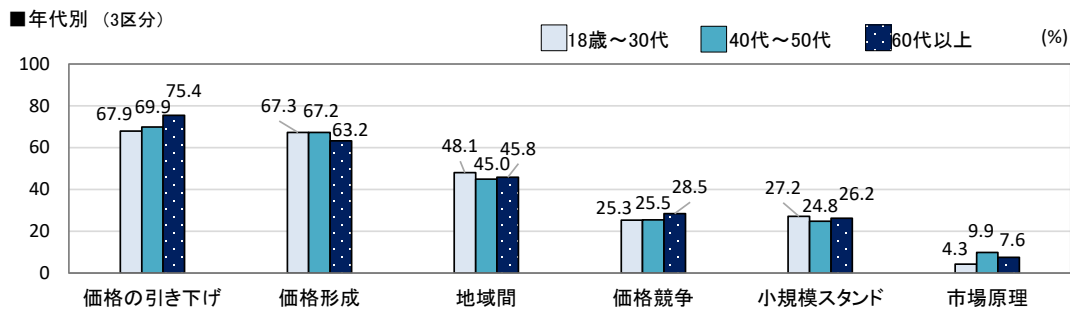
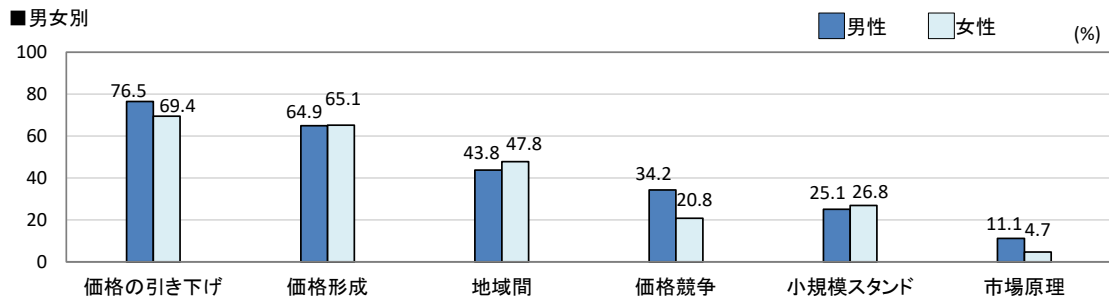
「国は、ガソリン税を軽減するなど、価格の引き下げに努めるべきだ」（価格の引き下げ）が72.5%と最多。次いで、「県は、ガソリンの価格形成が適正かチェックし、必要な対策を取るべきだ」（価格形成）が65.1%。国に価格の引き下げ、県に価格チェックと、それぞれ役割を果たすよう求める声が強い。「地域間のガソリン価格差が縮まるよう、行政と業者は対策を考えるべきだ」が46.0%で続く。

さらに、「県内のガソリン販売業者は、もっと価格競争をするべきだ」（価格競争）、「行政は、小規模スタンドも経営を維持できるよう、資金援助するべきだ」が、それぞれ27.1%、26.0%。「価格は、基本的には市場原理に任せるべきだ」は7.8%と少なかった。

男女別にみると、「価格の引き下げ」は、男性で76.5%、女性で69.4%と男性がやや高く、「価格競争」は、男性で34.2%、女性で20.8%と男性が大きく上回っている。年代別では、「価格の引き下げ」が、60代以上で75.4%と高め。職業別では、「価格競争」が、回答者数は61人と少ないものの「役員・管理職・自由業」で44.3%と高い。

■全体





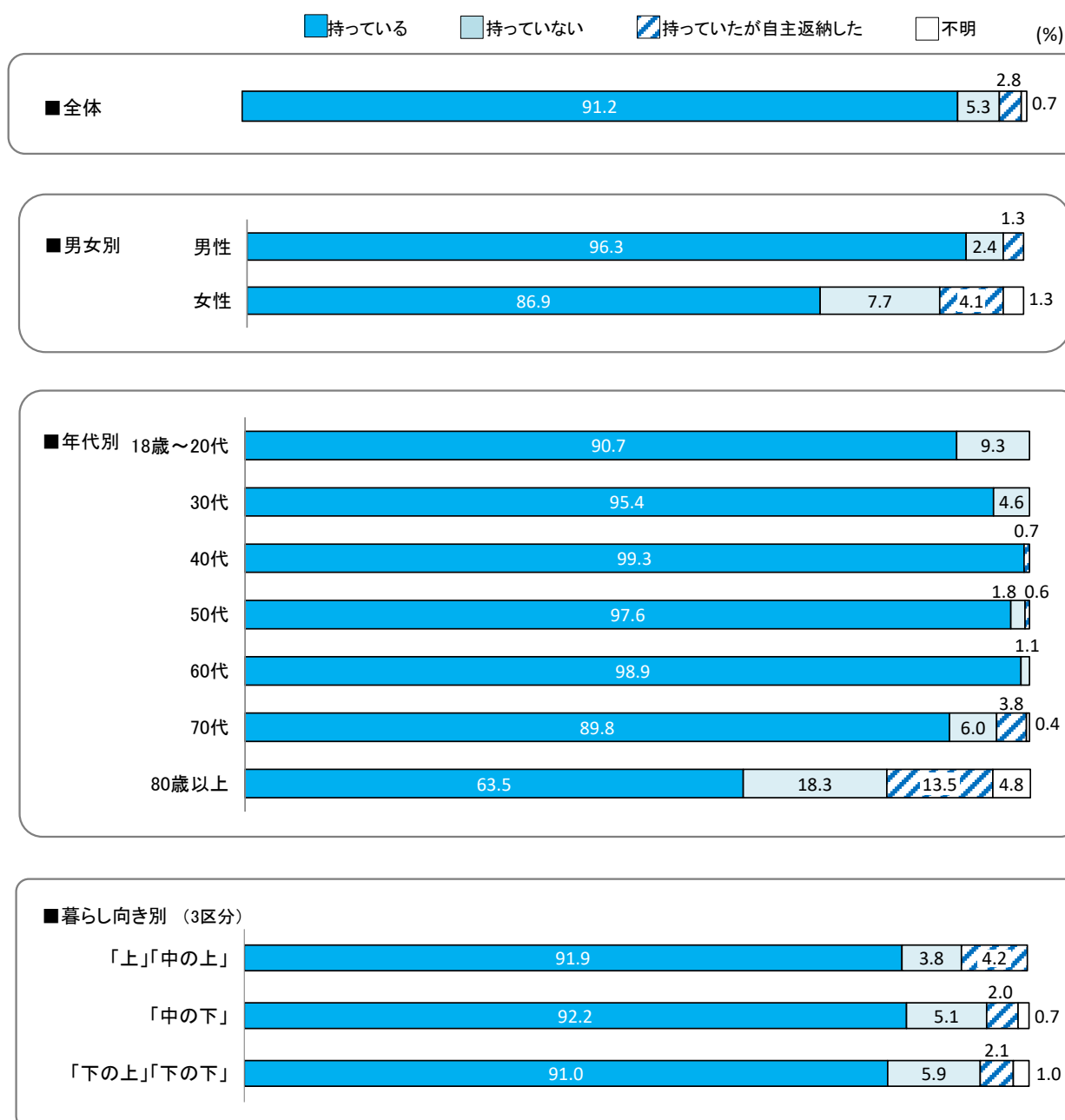
運転免許

問8 あなたは、自動車の運転免許を持っていますか。

◆自主返納 80歳以上で1割超

集計表45ページ

今回の回答者の91.2%が運転免許を持っている。「持っていたが自主返納した」は2.8%。自主返納は、1998年に制度化され、27年がたつが、男女別にみると、男性は1.3%に対し、女性は4.1%と上回る。年代別では、70代で3.8%、80歳以上で13.5%。また、職業別で、「専業主婦・主夫」「無職」はそれぞれ7.3%、8.3%。暮らし向きの別では、「上」「中の上」で4.2%。



自主返納したら生活は

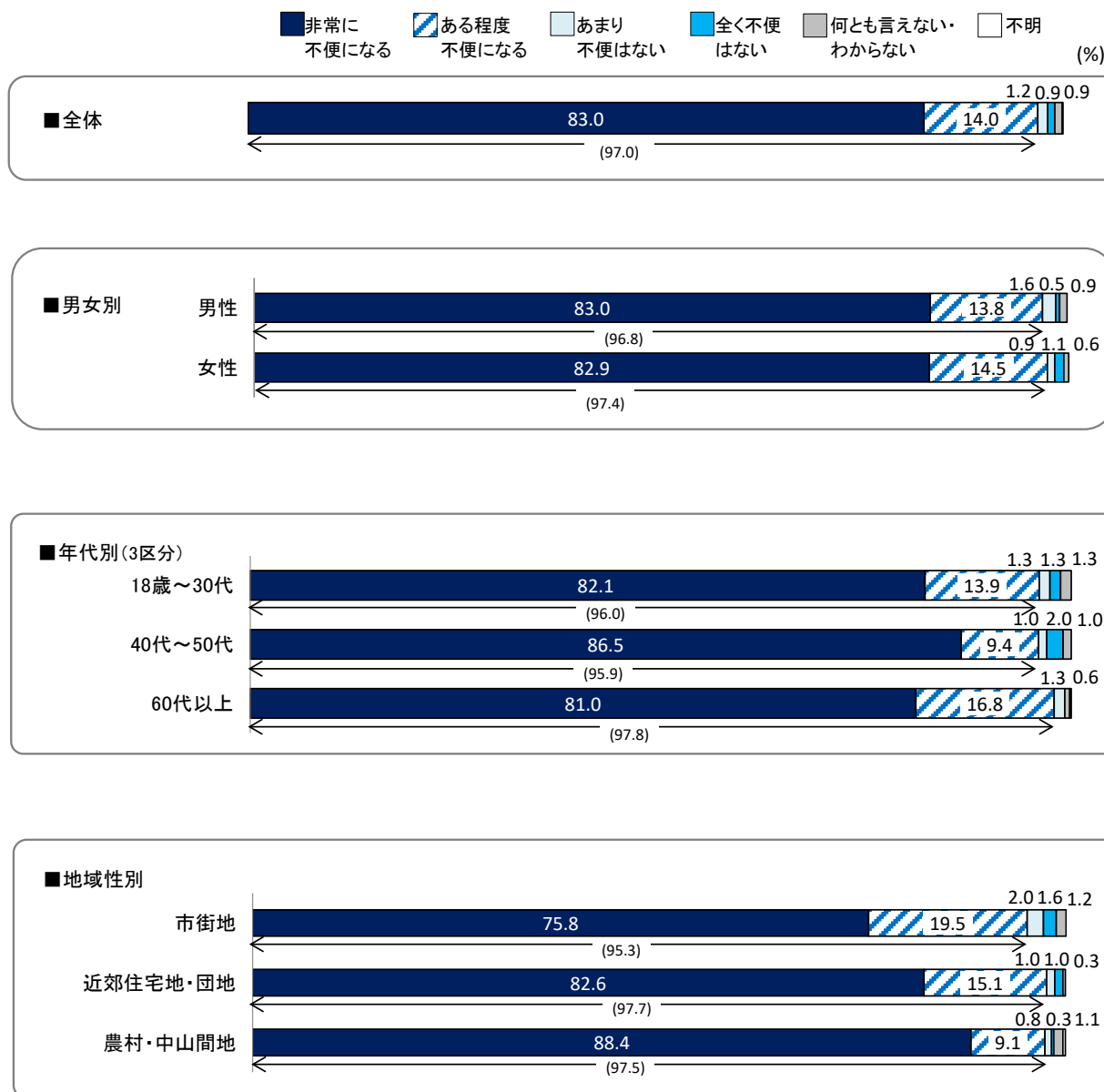
問9 (問8で「持っている」と答えた方にお尋ねします) 運転免許を自主返納したら、あなた自身やご家族の日常生活は、不便になると感じますか。不便になるとは思いませんか。

◆「非常に不便になる」83.0%

集計表46ページ

「非常に不便になる」が83.0%と圧倒的に多く、「ある程度不便になる」が14.0%。「不便になる」の合計は97.0%に達する。

「非常に不便になる」との回答に限ると、年代別では、40代～50代で86.5%とやや高め。地域性別では、農村・中山間地で88.4%と市街地の75.8%に比べ12.6%高く、より切実なことがうかがえる。



自主返納 あなたの考えは

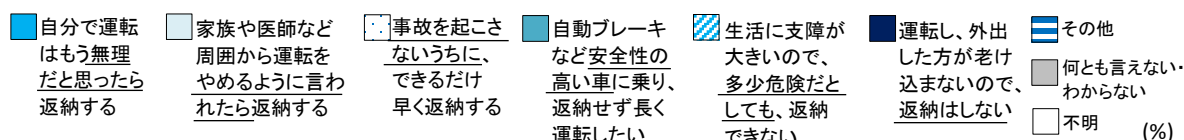
問 10 (問8で「持っている」と答えた方にお尋ねします) 運転免許の自主返納について、あなたの考えに近いのは次のうちどれですか。複数ある場合は、最も近いものを1つ選んでください。

◆「もう無理だと思ったら返納」全体の半数

集計表47ページ

「自分で運転はもう無理だと思ったら返納する」(無理だと思ったら)が50.7%と約半数。大きく離れ、「家族や医師など周囲から運転をやめるように言われたら返納する」(やめるように言われたら)が17.0%で続き、「事故を起こさないうちに、できるだけ早く返納する」は9.6%。タイミングの違いはあるが、「返納」を想定した3項目の合計は77.3%と8割近い。

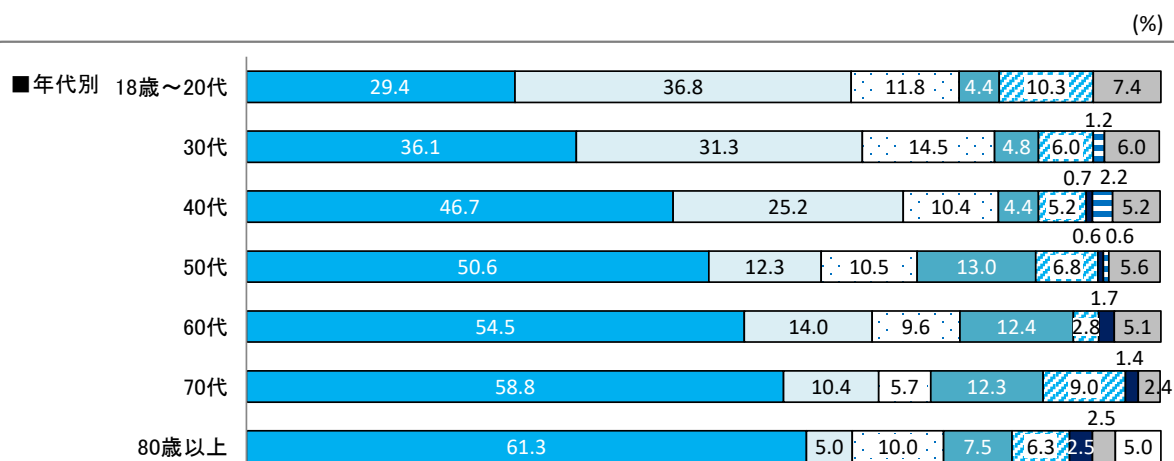
これに対し、「自動ブレーキなど安全性の高い車に乗り、返納せず長く運転したい」(安全性の高い車)が9.6%、「生活に支障が大きいので、多少危険だとしても、返納できない」(多少危険だとしても)が6.4%、「運転し、外出した方が老け込まないので、返納はしない」は1.1%で、この3項目の合計は17.1%。

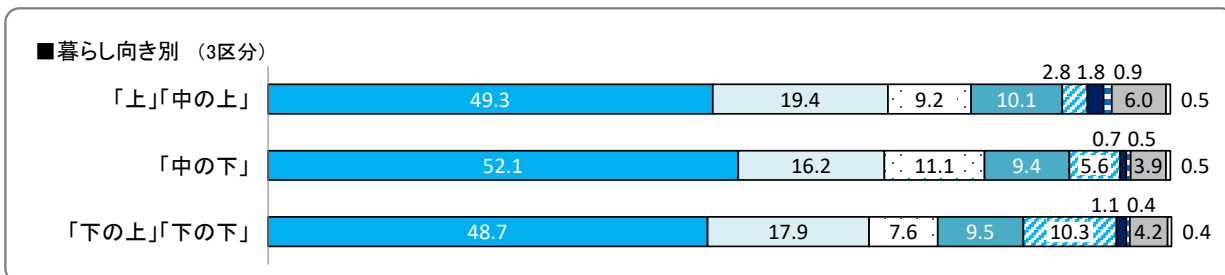
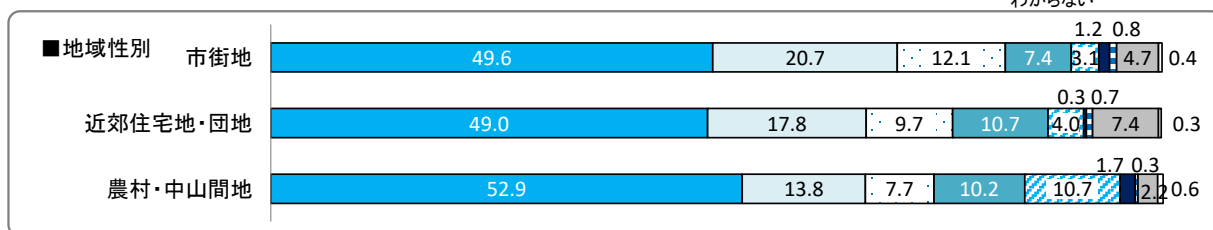
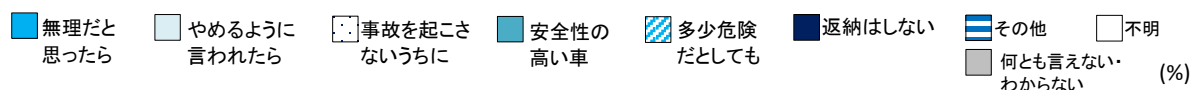


◆「多少危険だとしても返納できない」70代9.0%、80歳以上6.3%

年代別にみると、「無理だと思ったら」は、若年層には想像しづらいためか、18歳～20代では29.4%で、年代が上がるほど高くなり80歳以上で61.3%。逆に、「やめるように言われたら」は、概ね年代が上がるにつれて低くなる傾向。

「多少危険だとしても」は、年代別にみると、18歳～20代で10.3%、次いで70代で9.0%。80歳以上でも6.3%。また、居住地の地域性別では、農村・中山間地で10.7%、暮らし向きの別では、「下の上」「下の下」で10.3%と高めに表れている。「安全性の高い車」は、50代～70代で12%～13%台と高めだった。





返納理由

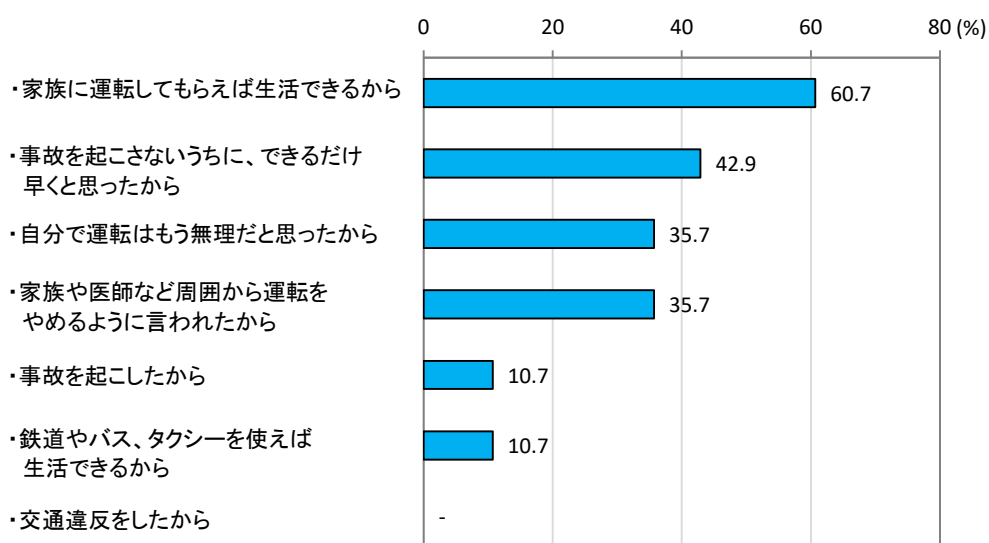
問 11 (問 8 で「持っていたが自主返納した」と答えた方にお尋ねします) なぜ、運転免許を自主返納しようと思ったのですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選んでください。

◆「家族に運転してもらえば生活できる」 6 割

集計表 48 ページ

問 8 で運転免許を「持っていたが自主返納した」との回答は 2.8%。実数は 28 人と少なく参考値だが、返納した理由は、「家族に運転してもらえば生活できるから」が 60.7% (17 人) と多く、次いで「事故を起こさないうちに、できるだけ早くと思ったから」が 42.9% (12 人)。

「自分で運転はもう無理だと思ったから」と「家族や医師など周囲から運転をやめるように言われたから」がいずれも 35.7% (10 人) で、「鉄道やバス、タクシーを使えば生活できるから」は 10.7% (3 人) と少なかった。



Ⅲ 調査票

＜ご回答に際してのお願い＞

- ❖ 封筒の宛名に書かれたご本人様の回答をお願いいたします。
- ❖ ご回答は、○印を付けていただくものと、選択肢の番号を右端の□の中にご記入いただくものがあります。
- ❖ ご回答の内容によって、質問をとばしていただく場合があります。その場合は、指示に従ってお進みください。
- ❖ 「その他」の回答は、() 内に内容をご記入ください。

問 1 あなたが、通勤・通学や通院、買い物や趣味など、ご自身の日常生活において主な移動手段としているのは、次のうちどれですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。（番号の左側に○印をお付けください）

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | ① 行政などの乗り合いタクシーや地域循環バス、移送サービス |
| ☐ | ② 自転車 |
| ☐ | ③ タクシー |
| ☐ | ④ 鉄道 |
| ☐ | ⑤ 徒歩 |
| ☐ | ⑥ バイク |
| ☐ | ⑦ バス |
| ☐ | ⑧ マイカー（勤務先貸与の車で通勤している、あるいは、家族が運転している場合も含む） |
| ☐ | ⑨ その他（) |
| ☐ | ⑩ 移動できない（病気、高齢、障害、施設入所などのため） → 8 ページへ(※) |
- (※) ⑩とお答えの方は、恐れ入りますが、8 ページのご回答をお願いいたします

（問 1 で⑩と答えた方以外のお尋ねします）

問 2 あなたが、日常生活で、鉄道を利用するとき、特に、不便や不満を感じるのは、どんなことですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選んでください。（番号の左側に○印をお付けください）

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ☐ | ① 運行本数が少ない |
| ☐ | ② 運賃が高い |
| ☐ | ③ 車いすやベビーカーが乗降しづらい |
| ☐ | ④ 交通系 I C カードが使えない |
| ☐ | ⑤ 座席に座れない |
| ☐ | ⑥ 時間がかかる |
| ☐ | ⑦ 自宅から駅が遠い |
| ☐ | ⑧ ダイヤが乱れる |
| ☐ | ⑨ 乗り換えが不便 |
| ☐ | ⑩ 目的地の近くまで行けない |
| ☐ | ⑪ その他（) |
| ☐ | ⑫ 特にない |
| ☐ | ⑬ ふだん鉄道は利用しない |

問 3 あなたが、日常生活で、バスを利用するとき、特に、不便や不満を感じるの
は、どんなことですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選んでく
ださい。（番号の左側に○印をお付けください）

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ☐ | ① 運行本数が少ない |
| ☐ | ② 運賃が高い |
| ☐ | ③ 車いすやベビーカーが乗降しづらい |
| ☐ | ④ 交通系 I C カードが使えない |
| ☐ | ⑤ 座席に座れない |
| ☐ | ⑥ 時間がかかる |
| ☐ | ⑦ 自宅からバス停が遠い |
| ☐ | ⑧ ダイヤが乱れる |
| ☐ | ⑨ 乗り換えが不便 |
| ☐ | ⑩ 目的地の近くまで行けない |
| ☐ | ⑪ その他（ ） |
| ☐ | ⑫ 特にない |
| ☐ | ⑬ ふだんバスは利用しない |

問 4 あなたが、日常生活で、自転車で移動するとき、特に、不便や不満を感じる
のは、どんなことですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選んで
ください。（番号の左側に○印をお付けください）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ☐ | ① 雨や雪、強風の日に乗れない、乗りづらい |
| ☐ | ② 時間がかかる |
| ☐ | ③ 事故の危険がある |
| ☐ | ④ 自転車専用レーンがない、少ない |
| ☐ | ⑤ 体力的にきつい |
| ☐ | ⑥ その他（ ） |
| ☐ | ⑦ 特にない |
| ☐ | ⑧ ふだん自転車は利用しない |

問 5 あなたが、日常生活で、マイカーで移動するとき、特に、不便や不満を感じ
るのは、どんなことですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選ん
でください。（番号の左側に○印をお付けください）

- | | |
|--------------------------|------------------|
| ☐ | ① 時間がかかる |
| ☐ | ② 事故の危険がある |
| ☐ | ③ 自動車の購入費、維持費が高い |
| ☐ | ④ 駐車場代が高い |
| ☐ | ⑤ 道路が混雑、渋滞する |
| ☐ | ⑥ 道路が狭い |
| ☐ | ⑦ 燃料代が高い |
| ☐ | ⑧ その他（ ） |
| ☐ | ⑨ 特にない |
| ☐ | ⑩ ふだんマイカーは利用しない |

問 6 長野県は、ガソリン価格が高いことで知られています。内陸部で、中山間地が多いため輸送コストがかかり、スタンドの規模も小さいことなどが理由とされてきました。あなたは、そうした理由に納得しますか。納得しませんか。

- ① 納得する
- ② ある程度納得する
- ③ あまり納得しない
- ④ 納得しない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

問 7 山間部が多く面積も広い長野県のような地方では、日常生活に車は欠かせないため、ガソリン価格の高騰や、地域間の価格差に不満は小さくありません。次の中から、あなたの意見に特に、近いものがあれば、いくつでも選んでください。（番号の左側に○印をお付けください）

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| ☐ | ① 国は、ガソリン税を軽減するなど、価格の引き下げに努めるべきだ |
| ☐ | ② 県は、ガソリンの価格形成が適正かチェックし、必要な対策を取るべきだ |
| ☐ | ③ 行政は、小規模スタンドも経営を維持できるよう、資金援助するべきだ |
| ☐ | ④ 県内のガソリン販売業者は、もっと価格競争をするべきだ |
| ☐ | ⑤ 地域間のガソリン価格差が縮まるよう、行政と業者は対策を考えるべきだ |
| ☐ | ⑥ 価格は、基本的には市場原理に任せるべきだ |
| ☐ | ⑦ その他（ ） |
| ☐ | ⑧ 何とも言えない・わからない |

問 8 あなたは、自動車の運転免許を持っていますか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 持っている | ➡ 問 9、10、12 へ |
| ② 持っていない | ➡ 問 12（次頁）へ |
| ③ 持っていたが自主返納した | ➡ 問 11（次頁）、12 へ |

☐

問 9（問 8 で「持っている」と答えた方にお尋ねします）

運転免許を自主返納したら、あなた自身やご家族の日常生活は、不便になると
思いますか。不便になるとは思いませんか。

- ① 非常に不便になる
- ② ある程度不便になる
- ③ あまり不便はない
- ④ 全く不便はない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

👉 次のページへお進みください 👉👉

問10（問8で「持っている」と答えた方にお尋ねします）

運転免許の自主返納について、あなたの考えに近いのは次のうちどれですか。複数ある場合は、最も近いものを1つ選んでください。

- ① 事故を起こさないうちに、できるだけ早く返納する
- ② 自分で運転はもう無理だと思ったら返納する
- ③ 家族や医師など周囲から運転をやめるように言われたら返納する
- ④ 自動ブレーキなど安全性の高い車に乗り、返納せず長く運転したい
- ⑤ 生活に支障が大きいので、多少危険だとしても、返納できない
- ⑥ 運転し、外出した方が老け込まないので、返納はしない
- ⑦ その他（ ）
- ⑧ 何とも言えない・わからない

10

問11（問8で「持っていたが自主返納した」と答えた方にお尋ねします）

なぜ、運転免許を自主返納しようと思ったのですか。次の中から、当てはまるものをいくつでも選んでください。（番号の左側に○印をお付けください）

- ① 事故を起こさないうちに、できるだけ早くと思ったから
- ② 自分で運転はもう無理だと思ったから
- ③ 家族や医師など周囲から運転をやめるように言われたから
- ④ 事故を起こしたから
- ⑤ 交通違反をしたから
- ⑥ 鉄道やバス、タクシーを使えば生活できるから
- ⑦ 家族に運転してもらえば生活できるから
- ⑧ その他 ()

(全員の方にお尋ねします)

問12 「ライドシェア」についてお聞きします。

あなたは、「ライドシェア」という言葉を見聞きしたことがありますか。
また、どんな制度か知っていますか。

- ① 見聞きしたことがあり、どんな制度か知っている
② 見聞きしたことはあるが、どんな制度かは知らない
③ 見聞きしたことがない

10

問13 「ライドシェア(※)」は、自家用車を使って、有料で客を運ぶサービスです。あなたは、日常生活の移動手段としてライドシェアに期待しますか。期待しませんか。

- ① 期待する
- ② ある程度期待する
- ③ あまり期待しない
- ④ 期待しない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

7

(※) 「日本版ライドシェア」は、タクシー事業者が実施主体となり、ドライバー募集や安全管理などを担う。自治体やNPOが主体となるのが「公共ライドシェア」

問14 あなたが、ライドシェアの最も大きな課題になると思うことは何ですか。

- ① 安全性
- ② 乗り心地
- ③ 利便性
- ④ 料金
- ⑤ その他 ()
- ⑥ 何とも言えない・わからない

☐

問15 あなたは、「M a a S」(マース)という言葉を見聞きしたことがありますか。また、どんな制度か知っていますか。

- ① 見聞きしたことがあります、どんな制度か知っている
- ② 見聞きしたことはあるが、どんな制度かは知らない
- ③ 見聞きしたことがない

☐

問16 「M a a S」(Mobility as a Service)は、スマートフォンの操作で、目的地までの最適な経路の検索から、複数の公共交通やその他移動手段の予約、決済まで一括してできるサービスです。あなたは、日常生活の移動を助けるものとして、M a a Sに期待しますか。期待しませんか。

- ① 期待する
- ② ある程度期待する
- ③ あまり期待しない
- ④ 期待しない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

問17 あなたは、バスや鉄道など公共交通サービスが仮に低下し、あるいは廃止されても、自動運転やドローンによる配送、遠隔診療といった先端技術が進歩することによって、生活の便利さは維持されると思いますか。そうは思いませんか。

- ① そう思う
- ② どちらかと言えばそう思う
- ③ どちらかと言えばそう思わない
- ④ そうは思わない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

 次のページへお進みください  

問18 バス、鉄道といった公共交通サービスの低下や廃止を補うものとして、あなたが特に、期待するものがあるとすれば、次のうちどれですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。
(番号の左側に○印をお付けください)

☐	① 移動販売
☐	② 遠隔診療
☐	③ 行政などの乗り合いタクシーや地域循環バス、移送サービス
☐	④ 自動運転による配送
☐	⑤ 宅配
☐	⑥ 通信販売
☐	⑦ テレワーク（在宅勤務）
☐	⑧ 電動カート
☐	⑨ ドローンによる配送
☐	⑩ メール、フェイスブック、ライン等による交流、通信
☐	⑪ その他（)
☐	⑫ 期待できるものはない
☐	⑬ 何とも言えない・わからない

問19 赤字ローカル鉄道についてお聞きします。
大きな赤字が出ている地方鉄道の区間を存続させるべきか、バス輸送などに転換すべきか、あなたの考えに近いのは次のうちどれですか。

- ① あくまで存続させるべきだ
- ② できるだけ存続の方向で検討するべきだ
- ③ ケースによっては転換もやむを得ない
- ④ 転換を積極的に考えるべきだ
- ⑤ その他（)
- ⑥ 何とも言えない・わからない

☐

問20 あなたは将来、日常生活における移動ができなくなったり、困難になったりする不安を感じますか。そのような不安は感じませんか。

- ① とても感じる
- ② ある程度感じる
- ③ あまり感じない
- ④ 全く感じない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

問21 あなたは、日常生活の移動手段を確保するために、政府や自治体に、特に、どんなことを望みますか。次の中から、当てはまるものがあれば、いくつでも選んでください。（番号の左側に○印をお付けください）

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | ① 行政などの乗り合いタクシーや地域循環バス、移送サービスの拡充 |
| ☐ | ② 自転車専用レーンの整備 |
| ☐ | ③ タクシーの24時間営業 |
| ☐ | ④ 駐車場の増設 |
| ☐ | ⑤ 駐輪場の増設 |
| ☐ | ⑥ 鉄道の維持 |
| ☐ | ⑦ 道路整備 |
| ☐ | ⑧ バス路線の維持 |
| ☐ | ⑨ バスやタクシーの運転手確保 |
| ☐ | ⑩ M a a S（マース）の普及 |
| ☐ | ⑪ ライドシェアの拡充 |
| ☐ | ⑫ その他（ ） |
| ☐ | ⑬ 何とも言えない・わからない |

問22 地域交通の今後の在り方について、思うところがございましたら、枠内にお書きください。

＜ご協力ありがとうございました＞

次のページでお聞きする事柄は、結果をまとめる上で必要となります。
お手数ですが、引き続き、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

 次のページへお進みください  

最後に、以下6項目のご回答をよろしくお願いいたします。

F 1 あなたの性別 ① 男性 ② 女性 ③ 回答しない

F 2 あなたの年代 ① 10代 ⑤ 50代
② 20代 ⑥ 60代
③ 30代 ⑦ 70代
④ 40代 ⑧ 80歳以上

F 3 あなたの職業 ① 事務系、技術系従事者
② 現業・サービス業系従事者
③ 役員・管理職・自由業
④ 商工・自営業
⑤ 農・林・漁業
⑥ 専業主婦・主夫
⑦ パート・アルバイト
⑧ 学生
⑨ 無職
⑩ その他 ()

F 4 お住まいの地域性 ① 市街地
② 近郊住宅地・団地
③ 農村・中山間地

F 5 世帯構成（現在の状況をお答えください）
① 単身
② 夫婦のみ
③ 親と子の2世代
④ 親、子、孫の3世代
⑤ その他 ()

F 6 現在の日本の社会の暮らし向きを5つに分けるとすれば、あなたの家庭はどのあたりに入ると思いますか

① 上 ② 中の上 ③ 中の下 ④ 下の上 ⑤ 下の下

お忙しい中、誠に恐れ入りますが、3月10日（月）までに
ご返信のほど、よろしくお願い申し上げます。

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ